

教育要覧

令和 7 年度版



ミリカローデン那珂川リニューアル 第4期工事完了

那珂川市教育委員会



■市章

市章は、市の中央を流れる那珂川の「ナ」を盛り込んで、“緑と水のまち”を表しています。

(昭和 48. 8. 10 制定)

■那珂川市市民憲章

わたくしたちのまち那珂川市は、那珂川にはぐくまれ、自然に恵まれた、かぎりなく発展するまちです。

わたくしたちは、この市の市民であることを誇りにもち、住みよいまちをめざし、ここに市民憲章をさだめます。

自然を大切にし
水と緑の美しいまちをつくりましょう

きまりを守り
助け合う心豊かなまちを
つくりましょう

からだをきたえ
健康で明るいまちをつくりましょう

勤労を尊び
暮らし豊かなまちをつくりましょう

歴史遺産を守り
文化の香りたかいまちを
つくりましょう

(昭和 57.3.28 制定)

(平成 30.10.1 市制施行)



■市の花・筑紫シャクナゲ

市の山中に昔から自生している低木で、緑の中に華麗に咲く花は自然豊かな那珂川市のシンボルにふさわしいものです。

(昭和 51. 10. 23 制定)

■市の木・ヤマモモ

市内に多く自生している常緑樹で、よく葉が茂り、その緑は憩いを感じさせてくれます。雄々しい樹幹はよく水分を含み、青々とした葉の色は、水と緑の本市のイメージに非常によく合います。



(昭和 51. 10. 23 制定)



■市の鳥・カワセミ

市を貫流する清流那珂川に生息するきれいな色彩と姿態の鳥で、自然豊かな那珂川市を象徴するものです。

(平成 4. 12. 14 制定)

目 次

教育行政

1	令和7年度那珂川市教育施策要綱	1
2	教育委員会	13
3	教育委員会組織と事務分掌	14
4	学校	16
5	拡大コミュニティ・スクール	28

資料編

1	歴代教育委員・教育委員長・教育長	32
2	沿革	33
3	学校給食	38
4	学校施設	39
5	市立小・中学校・幼稚園一覧	42
6	園児・児童・生徒数及び学級数の推移	43
7	文化財	45

教 育 行 政

- 1 令和7年度 那珂川市教育施策要綱
- 2 教育委員会
- 3 教育委員会組織と事務分掌
- 4 学校
- 5 拡大コミュニティ・スクール

1 令和7年度 那珂川市教育施策要綱

目 標

本市では、総合計画（令和3年度～令和12年度）において、「笑顔で暮らせる自然都市 なかがわ」を掲げてまちづくりを推進しています。

また、教育大綱（令和3年度～）において、「誰もが学び、育むまちづくり」を目指して、施策を推進しています。

このような中で、那珂川市教育委員会は、次の9つの基本施策の柱を設定し、教育行政を推進します。那珂川市教育委員会は、この基本目標の実現を目指して関係諸機関、団体との連携を深め、広く市民の理解と協力を得ながら積極的に本市教育の振興充実に取り組みます。

- 1 人権・同和教育と啓発の推進
- 2 学校教育の充実
- 3 地域とともにある学校づくりの推進
- 4 教育環境の充実
- 5 社会教育の推進
- 6 生涯学習の推進
- 7 スポーツの推進
- 8 文化・芸術活動の充実
- 9 歴史遺産の保存とまちづくりへの活用

重 点 施 策

1 人権・同和教育と啓発の推進

人権・同和教育と啓発の充実を図り、人が人として尊重される人権意識を育みます。

(1) 地域における人権・同和教育と啓発の推進

ア 差別の解消に向けて

部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消のため、市民及び社会教育関係団体等を対象とした人権・同和問題に関する各種講演会・研修会を開催します。

(2) 学校における人権・同和教育の推進

ア 研究と連携

研究活動及び関係機関・団体との相互連携や情報交換を行い、人権・同和教育の充実に努めます。

イ 学校での推進

一人ひとりが大切にされ、良さや可能性を發揮できる学校教育を推進します。

ウ 学習教材の活用

人権教育学習教材「かがやき」「あおぞら」「あおぞら2」を活用した指導を充実します。

2 学校教育の充実

グローバル化や情報化など、子ども達が様々な社会変化を柔軟に受け止め、自ら判断し、行動し、主体的に問題解決をしていけるよう「生きる力」をもった子どもを育みます。

そのために、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むとともに、国際化・情報化に対応し、これからの中河川市の発展に向けて活躍できる人材の育成を目指します。

(1) 確かな学力の育成

ア 那珂川スタンダードの推進

小・中学校を通して、「深い学びに向かう振り返り」を重視し、児童生徒が「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」を実感できる授業である「那珂川スタンダード【教科編】」と学習基盤の確立を目指す「那珂川スタンダード【基盤編・追補版】」を基本に、計画的・継続的に「確かな学力」を身に付けさせる授業改善を推進します。

イ I C T教育の推進

1人1台のタブレット端末や、各学級に整備したプロジェクター、スクリーン等の I C T機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。さらに「那珂川市 I C T教育推進計画」に基づき「那珂川スタンダード」と I C Tの効果的な活用のベストミックスにより主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。このことにより豊かな未来を創り出す子どもを育成します。

ウ 外国語教育の推進

「那珂川市外国語教育推進計画」に基づき、小・中学校9年間を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成に努めます。そのために、お互いの考え方や気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を積極的に取り入れた授業の推進を図ります。さらに体験型英語施設利用や、イングリッシュイベント、イングリッシュデイ、英語スピーチコンテストかわせみ杯、オーストラリアの学校とのオンライン交流の実施など、学習した外国語を活用する体験活動の拡充を図ります。

(2) 豊かな心の育成

ア 道徳教育の充実

一人ひとりを大切にし、よさや可能性を発揮できるといった人権・同和教育の視点に沿った教育活動を推進するとともに、子どもの自発的・主体的な成長や発達を支える道徳教育の充実を図ります。

イ いじめや不登校への対応

「那珂川市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見及びいじめへの対処など、いじめ防止対策を推進します。また、関係機関・団体との緊密な連携を図るため、「那珂川市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめ防止等対策を実効的に行うとともに、重大事態発生時には調査組織として、

「那珂川市いじめ防止等対策委員会」を開催して調査及び対応に取り組みます。

不登校への対応については、那珂川市教育サポートセンターを核として学校・関係者・関係機関と連携した児童生徒及び保護者の支援を行います。

ウ いじめや不登校に係る指導体制の充実

一人ひとりに応じたきめ細かな指導や相談などができるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフの配置や関係機関・地域との連携により、学校が組織的に対応できる体制を整えます。

また、いじめや不登校に係る生徒指導上の諸問題の未然防止・早期発見・早期対応するため、児童生徒指導支援員を配置します。

エ 読書活動の推進

学校図書館の整備充実に努めるとともに、学校司書を配置し、子どもの読書に対する興味・関心を高め、想像力豊かな子どもの育成を図ります。

オ キャリア教育の推進

将来の夢や希望をもち、豊かな職業観と進路選択能力を育成するため、小・中学校9年間を通したキャリアパスポートを効果的に活用しながら、社会で自立していく力を身に付けるためのキャリア教育を充実させます。

(3) 健やかな体の育成

ア 体力向上の推進

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」及び「福岡県児童生徒体力・運動能力調査」等の結果を踏まえて、各学校の体力向上に係る「1校1取組運動」の充実を図り、体力の向上に努めます。

イ 学校給食の充実

(ア) 「第2次那珂川市学校食育推進計画」に基づき、児童生徒の発達段階を踏まえて、教育活動全体を通じた食育の推進に取り組みます。

(イ) 「学校給食衛生管理基準」を基に作成した「学校給食衛生管理マニュアル(令和3年度改訂)」に基づき、安全で美味しい学校給食を目指して、衛生管理の徹底を図るとともに、給食内容の充実、学校給食関係者の知識や技術の向上に取り組みます。

(ウ) 食物アレルギーを有する児童生徒については、「学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づき、より安全な学校給食の提供に取り組みます。

(エ) 県費栄養教諭・学校栄養職員が配置されていない小・中学校に、市費学校栄養職員を配置することにより、食育の推進及び安全安心な学校給食の提供に努めます。

ウ 安全教育の推進

児童生徒の学年に応じた安全指導を徹底することにより、自分の身を守る力の育成に取り組みます。また、通学路での安全を守るため、教育委員会が作成した「通学路交通安全プログラム」に基づき、学校、家庭、地域、関係機関と連携・協力した合同点検を行い、安全対策の推進や安全教育のさらなる充実を図ります。

(4) 特別支援教育の充実

ア 特別支援教育の推進

多様化している就学相談や教育相談に対応するため、特別支援教育センターを核として、学校及び保護者への適切な支援を行います。また、小・中学校の教職員に対して特別支援教育に関する指導及び助言を行い、学校における専門性の向上を図ります。

イ 特別支援教育の指導体制の充実

特別支援教育センターに特別支援教育担当指導主事及び臨床心理士など専門的な職員を配置し、関係部署との連携を図りながら、幼児期から小・中学校まで一貫した取組を行います。また、特別な支援を要する児童生徒に対して、学校における日常生活上の介助や学習支援等を行う特別支援教育支援員を配置します。

(5) 幼児教育

ア 幼稚園教育の推進

幼稚園教育要領に基づき、幼児の発達の特性に応じた教育内容の工夫及び改善を図るとともに、開かれた幼稚園づくりの推進と子育ての支援活動に取り組みます。

3 地域とともにある学校づくりの推進

学校、家庭、地域や関係機関などと連携や交流を図りながら、地域に開かれた学校運営を推進します。

(1) 学校、家庭、地域等との連携・協働

ア コミュニティ・スクールの充実

全ての小・中学校に設置している「学校運営協議会」の活性化を図り、コミュニティ・スクールの推進に努め、地域による学校運営を促進し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進します。

イ 小・中学校連携の強化

中学校ブロックを単位とした拡大コミュニティ・スクールの実践を進め、ブロック内の小学校と中学校及び地域と小・中学校の連携を強化します。

ウ 学校部活動の地域移行

国が令和4年12月に策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び福岡県教育委員会が令和5年3月に策定した「福岡県学校部活動の在り方に関する指針（改訂第2版）」などを参考に、休日の学校部活動の地域移行については、一部の競技から取り組み、課題を検証しつつ導入を進めます。

4 教育環境の充実

学習環境の向上や老朽化した施設の安全性の確保など、子どもが安全で安心して学習できる教育環境づくりに努めます。またキャリアステージに応じた教員の指導力を向上させるための研修や今日的課題に応じた研修を実施するなど、教員の授業力向上や学校経営の活性化を目指します。

あわせて、教職員の業務改善を図り、働き方改革を推進します。

(1) 学校施設の整備・充実

ア ICT教育に係る環境整備

児童生徒1人1台のタブレットなど、学校におけるICT環境を整備しプログラミング教育や情報教育の充実に努めます。また、ICT機器を有効活用するために、教材の作成補助、授業支援などに対応できるICT支援員を配置します。

イ 学校施設の整備・充実

快適で豊かな学習環境を確保するため、適正な施設の維持管理に努めます。

(2) 専門性の高い教職員の育成

ア キャリアステージに応じた教員の指導力の向上

教員の専門的力量の向上を図るため、教頭研修会や教務担当主幹教諭・教務主任研修会、若年教員授業改善研修など、教員のキャリアステージに応じた研修会を実施します。

イ 課題に応じた研修会の実施

教育力向上のために、学力向上、ＩＣＴ教育など、本市の今日的課題に応じたより実践的・体験的な研修会を実施します。

ウ 働き方改革の推進

「那珂川市立小・中学校教職員の働き方改革に関する方針」に基づく働き方改革を推進し、統合型校務支援システムを導入することで、教職員の心身の健康保持、向上を図りつつ、児童生徒と向き合うための時間、及び教員の専門性を高めるため、研究と修養の時間の確保に取り組みます。

(3) 就学の支援

ア 就学援助による支援

経済的な理由により、厳しい就学環境の中で学習する子どもがいる家庭に対し、就学援助による支援を推進します。

5 社会教育の推進

市民の学習に対するニーズに対応し、社会教育のさらなる充実を図るため、誰もがいつでもどこでも自由に学び、活動できる場の充実に努めます。

(1) 学校を核とした地域づくりの推進

ア 地域学校協働活動の推進

学校を核とした地域づくりを推進するため、地域学校協働活動推進員を中心となり、地域の協力のもとコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図ります。

(2) 子どもの居場所の確保

ア 子どもの居場所の確保

子ども同士、大人や高齢者とのコミュニケーションの場となる「地域学校協働活動事業放課後子供教室」を実施し、子どもたちの安全で安心できる居場所づくりを推進します。

(3) 家庭の教育力の向上

ア 家庭の教育力の向上

- (ア) 子育てにおける悩みや不安などを解消し、家庭の教育力向上を目指す「家庭教育学級」の充実を図ります。
- (イ) 地域学校協働活動推進員と連携し、家庭の教育力向上に資する活動を推進します。

(4) 青少年の健全育成

ア 青少年の健全育成

青少年の非行防止、保護及び健全育成を図るため、青少年指導員会などの関係機関や社会教育関係団体との連携を図ります。

(5) 社会教育関係団体の連携強化

ア 社会教育関係団体の連携強化

社会教育の推進のため、社会教育関係団体の連携強化を図ります。

(6) 国際交流の推進

ア 国際交流活動の推進

様々な国の生活や文化の違いを学び、互いに関心を深められるよう、市民の国際交流活動を支援します。

6 生涯学習の推進

生涯学習のさらなる充実を図るため、多様な学習機会の提供や施設の整備等、誰もがいつでもどこでも自由に学び、活動できる場の充実に努めます。

(1) 多様な学習機会の提供

ア 生涯学習のあり方の調査・研究

生涯学習のさらなる充実を図るため、生涯学習のあり方について調査・研究を行います。

イ 生涯学習の充実

(ア) 高齢者の生涯学習活動を支援するため、高砂大学（高齢者大学）の充実を図ります。

(イ) 出前講座を行い、地域における生涯学習の場の提供を行います。

ウ はたちのつどいの実施

次世代を担う若者が社会的な自立や社会人としての自覚を持ち、郷土を愛する心を育むきっかけとなるよう成人記念事業「はたちのつどい」を実施します。

(2) ミリカローデン那珂川、市立公民館などの施設の整備・充実

ア ミリカローデン那珂川の充実

指定管理者制度を活用し、リニューアル工事が完了したミリカローデン那珂川の魅力的な運営や利用促進に努めます。

イ 市立公民館の充実

(ア) 市立公民館の積極的な活用を図ります。

(イ) 市民の学習環境を整え、安全で快適な生涯学習の場を提供するため、市立公民館の適正な維持管理に努めます。

(3) 読書活動の推進

ア 読書活動の普及・啓発

(ア) 「第三次那珂川市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進するため、家庭、地域、幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小学校、中学校、図書館などにおける読書活動を支援するとともに、関係機関などとの連携・協力を図ります。

(イ) 「那珂川市図書館運営方針」に基づき、誰でも気軽に利用でき、市民に親しまれ、愛される地域の図書館づくりに努めます。

(ウ) 那珂川市図書館から離れた地域に住んでいる市民や障がいがある市民、高齢の市民などがより身近に本に触れられる環境を整え、更なる読書推進に繋げるため、移動図書館車を運行します。

7 スポーツの推進

生涯スポーツを推進するため、個人や団体によるスポーツ活動の支援やスポーツ施設の充実を図ります。

(1) 総合運動公園の整備

ア 市民が身近にスポーツを楽しむ総合運動公園づくり

「那珂川市総合運動公園整備計画」に基づき、既存社会体育施設と連携し、年齢や性別、障がいの有無などに関係なく、すべての人が安全で快適にスポーツを楽しみ、健康増進や交流、憩いの場となる総合運動公園の整備を推進します。

(2) スポーツ施設の整備

ア スポーツ施設の維持・改修

福岡県が令和6年3月に策定した「福岡県スポーツ推進計画 スポーツ立県福岡」を参考に、健康増進や競技スポーツのレベル向上など、スポーツの推進を図るため、既存の社会体育施設などの計画的な改修によりスポーツ活動の環境整備を推進します。

(3) 市民のスポーツ活動を支える団体の育成

ア スポーツ活動の支援

スポーツの普及、発展及び推進のため、体育協会・スポーツ少年団と協働して、スポーツ団体を育成し、その活動を支援します。

イ スポーツ大会の支援

市民の体力を向上させるとともに、市民のスポーツや健康に対する意識の高揚を図るため、各種スポーツ大会の開催や出場を支援します。

ウ スポーツ活動の場の提供

社会体育施設、学校体育施設及び複合文化施設（ミリカローデン那珂川屋内プール）の開放などによるスポーツ活動の場の提供を行います。

8 文化・芸術活動の充実

豊かな心を育み、活気あるまちづくりにつながる文化・芸術団体の活動を支援するとともに、多くの人々が文化・芸術を通じて交流できるイベントなど、機会の充実を図ります。また、「那珂川市文化芸術推進計画」に基づき、より多くの市民が文化・芸術に親しめる活動及び環境が充実するよう努めます。

(1) 文化・芸術団体の育成・支援・連携

ア 文化・芸術団体の育成・支援

市内の文化団体によって構成される文化協会の活動を支援し、市民の文化意識の向上を図ります。

イ 文化・芸術団体との連携

文化・芸術団体と連携し、多くの人々が文化・芸術を通じて交流できる機会の充実を図ります。

9 歴史遺産の保存とまちづくりへの活用

歴史遺産を保存・活用して、歴史や文化などにふれる楽しみ、学習する喜びを市民や来訪者に提供するとともに、歴史遺産を活かしたまちづくりに取り組みます。

(1) 歴史・文化の保護と継承

ア 安徳台遺跡の保存・活用

「国史跡安徳台遺跡保存活用計画」に基づき、適切に保存・管理・活用を行うため、関係団体等との連携強化や情報発信などに取り組みます。

イ 安徳大塚古墳の保存・活用

「国史跡安徳大塚古墳保存活用計画」に基づき、適切に保存・管理・活用するため、環境整備を行います。

(2) 文化財を活用したまちづくりの推進

ア 啓発事業の充実

- (ア) 市の歴史や文化を発信する歴史講座や展示会、体験学習などを実施し、歴史や文化にふれる機会の充実に努めます。
- (イ) 市の歴史や文化を市民と協働で広めるため、歴史関係団体との連携の強化に努めます。
- (ウ) 市内に伝承されてきた伝統芸能を後世に保存・継承するため、保存団体等を支援します。

2 教育委員会



教育長
木下尊雅



委員
渡辺美佐子



委員
池田佐恵子



委員
小森晃



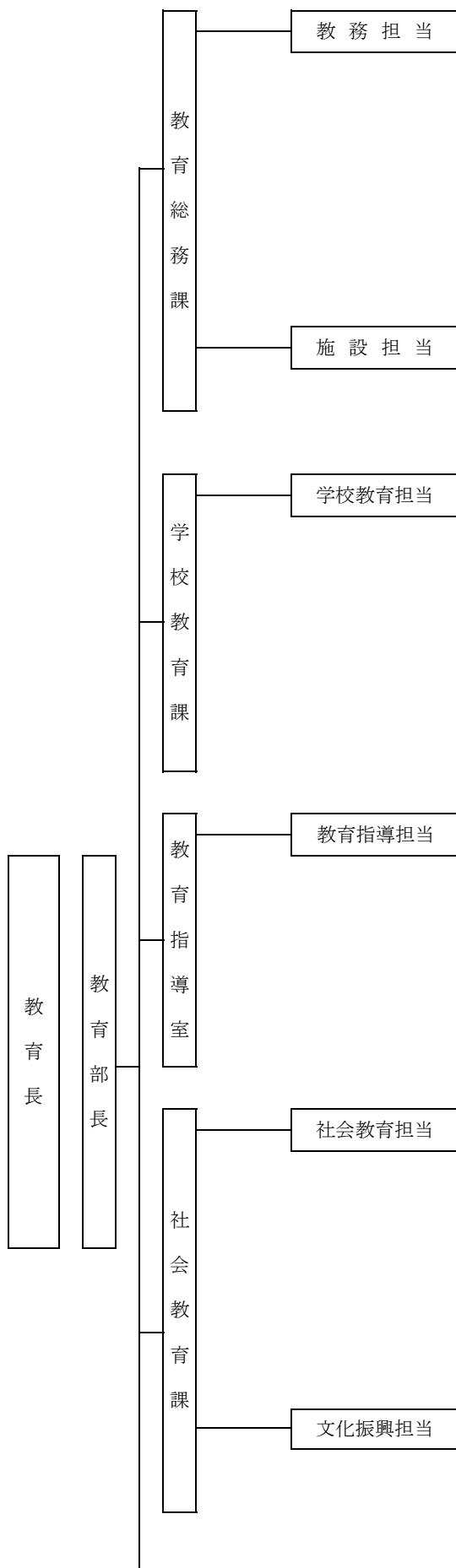
委員
西善啓

令和7年4月1日現在

区分	氏 名	任期	
		任命年月日	満了年月日
教育長	木下尊雅	令和7年4月1日 (令和4年4月1日)	令和10年3月31日
委員	渡辺美佐子	令和3年10月3日 (平成29年10月3日)	令和7年10月2日
委員	池田佐恵子	令和4年10月1日 (平成22年10月1日)	令和8年9月30日
委員	小森晃	令和5年10月4日	令和9年10月3日
委員	西善啓	令和6年10月4日	令和10年10月3日

※ () 内は、最初の任命年月日

3 教育委員会組織と事務分掌



教育委員会の会議に関すること。教育委員会の規則、規程等の立案及び審査に関すること。教育行政の総合企画並びに重要施策の企画に関するここと。教育予算及び決算に関すること。教育委員会事務局及び教育職員(県費負担教職員を除く。以下同じ)の定数、任免、給与、服務、その他人事に関すること。教育委員会事務局委員及び教育職員の研修及び争訟に関すること。県費負担教職員の任免、服務その他人事に関すること。県費負担教職員の保険及び安全に関すること。教育関係の調査及び統計に関すること。公印の管理並びに文書の収発及び保存に関すること。学校(幼稚園を除く。以下同じ。)の設置、管理及び廃止に関すること。教育委員会関係の表彰に関すること。教育関係の広報及び教育行政に関する相談に関すること。学校給食に関すること。教育行政における人権・同和教育に関すること。部内及び課内の庶務に関すること。その他上記に付随又は関連する業務に関すること。

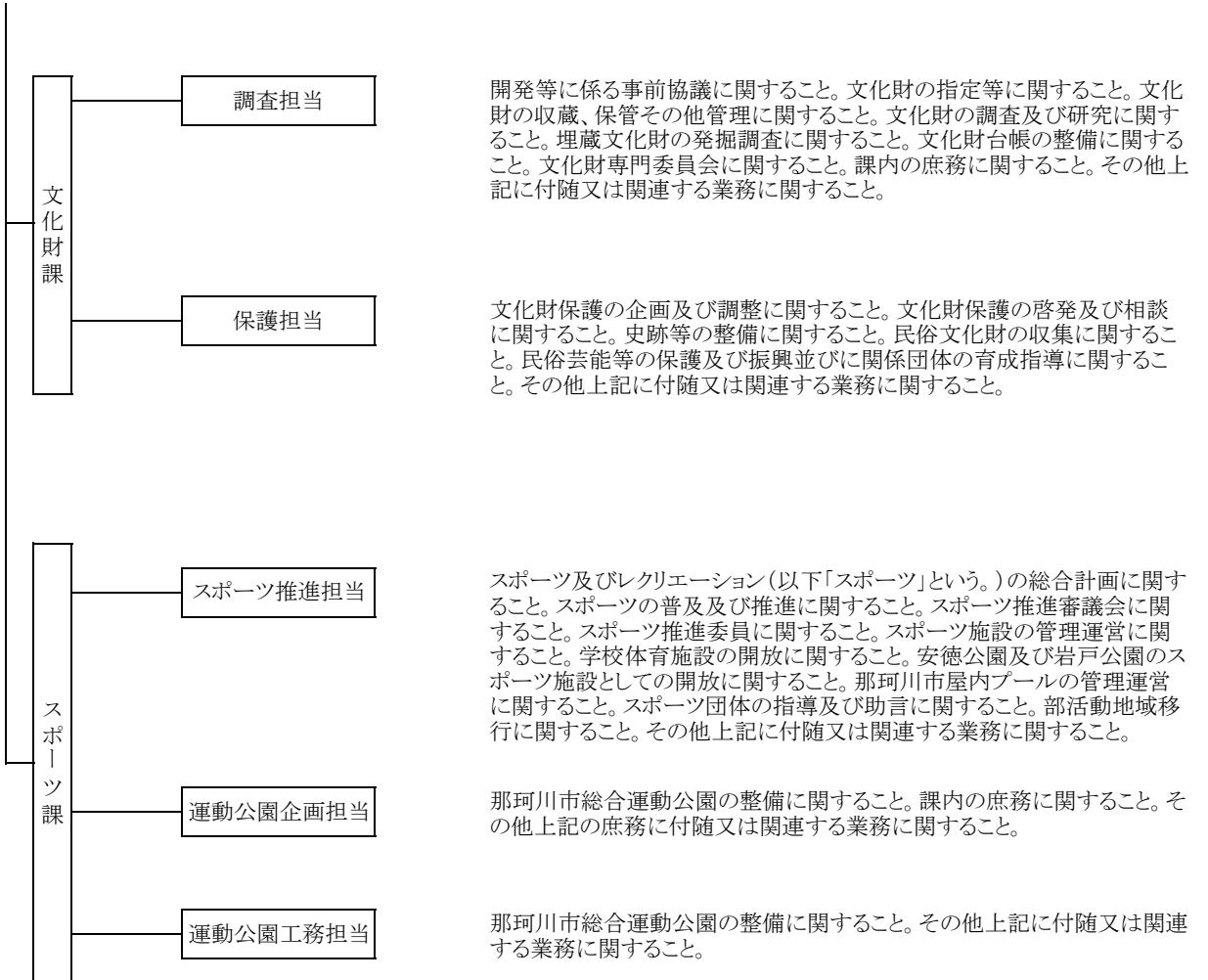
学校施設等の維持管理に関すること。学校施設等の調査及び施設台帳に関すること。その他上記に付随又は関連する業務に関すること。

学校教育の総合計画に関すること。学校予算及び決算に関すること。学校関係の調査及び統計に関すること。学校関係の広報に関すること。学校運営協議会に関すること。学校教育に係る国際交流に関すること。学級編制及び県費負担教職員の定数に関すること。児童及び生徒の転入転出に関すること。通学区域の設定及び変更に関すること。特別支援教育に関すること。教育支援委員会に関すること。教科用図書の採択事務に関すること。就学援助に関すること。奨学金に関すること。学校医、学校薬剤師及び歯科医師の委嘱に関すること。就学時の健康診断に関すること。児童生徒の保健及び安全に関すること。ICT教育の環境整備に関すること。課内の庶務に関すること。その他上記に付随又は関連する業務に関すること。

学校教育の指導及び助言に関すること。学校教育の指導に関する計画に関すること。市立幼稚園、小学校及び中学校における組織編成、教育課程、学習指導及び進路指導等に関するこ(他の課の所掌に係るもの除く。)。学校教育における人権・同和教育に関するこ。校長及び教員の研修に関するこ。教科用図書その他の教材の取扱いに関するこ。教育実践研究に関するこ。生徒指導及び教育相談に関するこ。校長会及び教頭会に関するこ。室内の庶務に関するこ。その他上記に付随又は関連する業務に関するこ。

社会教育の総合計画に関するこ。社会教育における人権・同和教育に関するこ。社会教育に関する指導及び助言に関するこ。社会教育委員に関するこ。成人教育に関するこ。高齢者教育に関するこ。視聴覚教育に関するこ。出前講座に関するこ。青少年教育及び青少年対策に関するこ。勤労青少年ホームの管理運営に関するこ。社会教育施設の設置、管理及び廃止に関するこ。市立公民館の管理運営に関するこ。市立公民館の自主学級の指導及び助言に関するこ。公民館運営審議会に関するこ。区公民館の指導及び助言に関するこ。社会教育関係団体との連絡調整並びに指導及び助言に関するこ。那珂川市同和教育研究協議会との連絡調整に関するこ。那珂川北中学校特別教室等の開放に関するこ。読書の推進に関するこ。子ども読書活動推進計画に関するこ。課内の庶務に関するこ。その他上記に付随又は関連する業務に関するこ。

文化・芸術の振興に関するこ。文化・芸術関係団体の育成並びに指導及び助言に関するこ。ミリカローデン那珂川(那珂川市屋内プールを除く。)の管理運営に関するこ。文化芸術推進計画に関するこ。図書館協議会に関するこ。市民の国際交流活動の支援に関するこ。その他上記に付随又は関連する業務に関するこ。



4 学校

 <h1>安徳小学校</h1> 	所在地	那珂川市松木2丁目134番地	
	電話	952-2122	FAX 952-0157
	校長	陶山 嘉一	教頭 矢野 修
	 安徳C・Sマスコット あんちゃん・とくちゃん		 金木犀と中原古墳(復元)

◆安徳C・S共育目標

「ふるさとを愛し、すすんで行動(考動)できる子どもの育成」
～やさしい子ども かしこい子ども たくましい子ども～

◆本年度の重点目標と具体的な取組

- (1) 重点目標 『「思いやり算」で考動し、**(安)**・**(と)**・**(く)**ができる子どもの育成』
～みんなが『今日も楽しさを見つける』学校100%を目指して～

(2) 具体的な取組

① **(安)**しんないさつ心づくり

○「日常挨拶」「返事」「お礼」の態度化

- ⇒ 「おはよう」の挨拶
「はい」の返事
「ありがとう」のお礼



② **(と)**とのえてがくしゅう学びづくり

○「三構え」と「表現」の態度化 ⇒ 「物構え(準備)」 「身構え(立腰)」 「心構え(傾聴)」 「表現(伝え方)」

③ **(く)**んぐんうごいて体づくり

○「もくもく掃除」と「ぐんぐん体操」の態度化 ⇒ 「もくもく掃除」(昼) 「ぐんぐん体操」(朝)

◆コミュニティ・スクールとしての取組

- (1) 三者協働の取組の見直しと改善 ○学校・保護者・地域学校協働本部の取組の連携・創造
 (2) 学校運営協議会の機能化 ○熟議の場と活動する場の推進
 (3) 地域学校協働本部の充実 ○地域人材の発掘と学校の教育活動への支援

◆人権・同和教育の推進

- (1) 本年度の目標 「一人ひとりに確かな学力と豊かな人権感覚を身につけた子どもの育成」
 (2) 本年度の努力点
 ○交流推進委員会研究協力事業への積極的な参加(教職員の学びの場)
 ○那珂川南中ブロックにおける小中連携の授業づくり(めざす子ども像の確認と授業実践)
 ○道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の横断的人権学習の編成・実施(カリキュラムの実践と見直し)



南畠小学校



所在地	那珂川市埋金 530 番地 1		
電話	952-2007	FAX	952-2893
校長	園田 洋一	教頭	大園 亨



各学年、地域の名人さんを講師に招き、製作体験をしています。写真はスワッグを作る4年生の様子。

「大冒険だ！南畠（遠足）」たてわり班で校区内の名所を巡り、絆を深めながら、ふるさとのよさを再発見します。

◆教育目標

「南畠での学びと育ちに誇りをもち、ふるさとを大切にする子どもの育成」

◆本年度の重点目標と具体的な取組

重点目標

「ありがとう・どうしたの・すごいね」に気づき・やってみる（子どもを育てる）南畠小
◇学びがいがある子ども主体の授業づくり

- ・「那珂川スタンダード」を基にした学習指導過程と自己表出の指導の工夫
- ・学びがいを高めるICTの活用
- ・個に応じた指導の充実を図る少人数指導や習熟学習の工夫

◇教職員の協働体制づくり

- ・学び合う職員集団づくり…授業改善研修・教師力向上の推進・交換授業の推進
- ・支え合う職員集団づくり…近接同学年部会・校務分掌会による校務運営

◇保護者・地域との連携づくり

- ・指導改善のための評価活動、学校運営協議会を核とし、地域学校協働本部と連携した
コミュニティ・スクール経営の推進

◆コミュニティ・スクールとしての取組

「南畠で学んでよかった、南畠で育ってよかった、南畠の役に立ちたい」と言える子どもの育成

- 実動組織である三部会「学びづくり部」「心づくり部」「安心づくり部」の目標、
活動内容、役割分担を明確にし、それぞれが自立し、主体的に子どもの育成に努める。
- 家庭・学校・地域が協働して、あいさつ・家庭学習・生活習慣の促進・定着を推進する。

◆人権・同和教育概要

- 相手を多面的に捉え、互いに認め合う支持的風土をもつ集団づくりに努める。
- 副読本「かがやき」「あおぞら」「あおぞら2」、那珂川市9カ年プラン及び歴史・公民
カリキュラムを意図的、計画的に活用した授業を実施する。
- 一人一人のよさを認め、伸ばしていく学級経営に努める。

<h1>岩戸小学校</h1>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">所在地</td> <td colspan="3">那珂川市西隈2丁目6番43号</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>952-2108</td> <td>FAX</td> <td>952-2604</td> </tr> <tr> <td>校長</td> <td>安陪 秀樹</td> <td>教頭</td> <td>黒川 健次</td> </tr> </table>			所在地	那珂川市西隈2丁目6番43号			電話	952-2108	FAX	952-2604	校長	安陪 秀樹	教頭	黒川 健次
所在地	那珂川市西隈2丁目6番43号														
電話	952-2108	FAX	952-2604												
校長	安陪 秀樹	教頭	黒川 健次												
<p>二代目梅檀（せんだん）と 記念碑</p>	<p>マスコットキャラクター 「クーちゃん」</p>														

◆共育目標

ふるさと岩戸を愛し、共に未来社会を創る子どもの育成

◆本年度の重点目標と具体的な取組

【重点目標】「コトバ」の力

何事にも「やってみよう」と取り組み、「あいさつ・ありがとう」を大切にし
「大丈夫・何とかなる」と可能性を信じ、最後まで「やりぬく」能力の育成

○めざす子ども像

「未来を切り拓く子」…新しい事や難しい事に、失敗を恐れず、積極的に挑戦する子
「最後までやり抜く子」…自分で選択、判断、創意工夫しながら、諦めず取り組み続ける子
「友達と協力する子」…互いのよさや考えを認め、約束を守り、励ましあう子

○「コトバ」の力

「まえを向くコトバ」…自分や相手を勇気づけ、やりぬこう（自己実現・自己受容）
「つながるコトバ」…挨拶・感謝を忘れず大切にしよう（社会性・自己有用感）
「あたたかいコトバ」…自分や相手を認め、ほめよう（自己肯定感）

◆コミュニティ・スクールとしての取組

「岩戸っ子」を中心とした「岩戸っ子コミュニティ」のもと、学校・家庭・地域の三者が、めざす子ども像を共有し、それぞれの役割を自覚して子どもに関わり、将来的に一人の人間として自立し、ふるさと岩戸を支え、守り、発展させる人材を育むことができるようになります。

○学校…生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）の育成、地域連携カリキュラムの作成
○家庭…基本的生活習慣の定着、ゲーム・スマホ・インターネットの使い方、家庭学習習慣の定着
○地域…子どもの安全の見守り、子どもの活躍できる場づくり、学校支援者の掘り起こし

◆人権・同和教育概要

目標 「人間尊重の精神に立って、一人一人に確かな学力を身につけさせるとともに、人間性豊かな子どもの育成」

○基礎・基本を明らかにし、確かな学力を育てます。
○差別を見抜く確かな見方・考え方を身につけさせます。
○自分の考えや確かな根拠を基に表現させ、友達と共に伸びていこうとする態度を育てます。



岩戸北小学校



所在地	那珂川市恵子1丁目1番地1		
電話	952-4883	FAX	952-0497
校長	松元 浩一郎	教頭	満生 祐二
「気づき」、「考え」、「動く」子どもの育成			
			
体力向上：投げキャッチ		学力向上：ICTの利活用	

◆教育目標

「地域を愛し、人間性豊かで、きらり輝く夢に向かう子どもの育成」

◆本年度の重点目標と具体的な取組

「気づき・考え・動く子どもの育成～対話する活動と共に支え合う活動を通して～」

＜方策1＞ 人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」

1 学力向上の取組【学力】

- ①全校統一した「スキルタイム」（読み、書き、計算スキル、読書等）や、個に応じた「算数タイム」による基礎学力の育成
- ②児童の実態をもとにした指導方法の工夫改善を図る計画的交換授業や、GT及びICTを活用しながら「実体験」「本物に触れる」授業の実践
- ③「傾聴」「協働」を基盤とした学び方や学習規律の確立と家庭学習の習慣化

2 規範意識・豊かな心の育成【人間関係】

- ①学級力の向上 ②人権教育、道徳教育の充実 ③「黙動清掃・クリーン作戦」

3 健やかな体の育成【体力】

- ①体力を高め、運動の楽しさを味わわせる体育指導の充実 ②自分のこと、自分達のこと意識で「避難・防犯訓練、平和集会」に臨み、自他の命や平和を守る認識の醸成 ③食育指導の充実

4 安心の居場所をつくるつながりづくり【特別支援教育】

- ①「あいさつ運動・もくもく掃除・廊下歩行」等による全校児童、教職員の関係づくり
- ②「なかよしタイム、なかよし集会（縦割り交流）」による集団づくりの積み上げ

＜方策2＞ 人権が尊重される「環境づくり」

- ①整然とした校舎内外環境の推進やユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境づくり
- ②「気づき、考え、行動する」力が身につく積極的かつ組織的生徒指導の充実・深化
- ③いじめ、不登校への組織的指導と対応及び校内での特別支援教育体制の推進

＜方策3＞ 自ら気づき行動する職員体制

- ①学校↔学年↔学級（共通理解→対応、対処、改善）の経営の一貫性
- ②日常的な「傾聴」「協働」の姿勢の強化
- ③公開授業等の研鑽
- ④経験（キャリアステージ）に応じた授業力・生徒指導力の育成と向上

◆コミュニティ・スクールとしての取組

- 1 地域の人及び諸組織を生かした「学校運営協議会」を組織し、子どもの資質・能力の育成について協議する。
- 2 家庭や地域の役割を明確にし、家庭での生活習慣づくりに努め、家庭学習の習慣化を図る。
- 3 「地域学校協働本部」による地域と連携した教育活動の実施を図る。

◆人権・同和教育概要

- 1 全教育活動の中で、「思いやり・親切」「信頼・友情」「公正・公平」等に関する内容を重点化し、実践的態度の育成を図る。
- 2 「かがやき」「あおぞら」「あおぞら2」「那珂川市社会科歴史・公民学習カリキュラム」を活用しながら、子どもを取り巻く環境を十分に考慮して、一層の充実化を図る。
- 3 思いやりのある態度や言葉遣いの指導と習慣化を図る。



安徳北小学校



所在地	那珂川市五郎丸1丁目11番地		
電話	952-4899	FAX	952-5986
校長	白水 隆暢	教頭	富松 祐爾
創立50周年記念式典 歌声発表会			創立50周年記念行事 バルーンリリース

◆教育目標

人間性豊かで、たくましい、実践力のある子どもの育成を図る

《めざす子ども像》

- (知) 進んで学ぶ子ども (・知識技能を確実に習得する・主体的に問題解決活動を行う・思考力、判断力、表現力を發揮する)
- (徳) 支え合う子ども (・よさを見つけ違いを認める・相手を思いやり助け励ます・礼儀、感謝、奉仕の心をもつ)
- (体) 心と体をきたえる子ども (・早寝、早起き、朝ごはん、外遊びに取り組む・目標をもちあきらめずに取り組む・規律を守り自律した生活をする)

◆本年度の重点目標と具体的な取組

自ら考え、行動する子どもの育成 ~base (基礎・基本、型) を大切にした主体的活動の推進~

《具体的な取組》

(1) 指導の柱 (子どもたちに指導する際、常に意識すること)

- 「整い」指導 (base)
 - ・教室が整う (机の並び、棚の中や上、ぞうきん、机の横、教師の机、床 等)
 - ・ものが整う (机の上の鉛筆、消しゴム、タブレット、ノート、教科書、定規 等)
 - ・構えが整う (姿勢、気持ち、服装 等)
- 「基礎・基本、型」指導 (base)
 - ・学び方、進め方の共通理解 ・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業、環境づくり
- ファシリテート
 - ・動機付け ・引き出す、促す、導く、支える、励ます ・一人一人の状況把握と支援・賞賛
- ICT活用
 - ・教師が活用する ・子どもが活用する ・活用方法の共有

(2) 経営の柱 (学校経営上、最も大切にしたいこと)

→ ONE TEAM 意識

- 学年チームの「つながり」と「まとまり」
 - ・学年主任を中心に学年で子どもを育てる意識、子どもの実態や目指す姿の共有、協働した指導
 - ・各部会内容の確実な共有 ・キャリアステージに応じた各自の役割の自覚
- 学校全体の「つながり」と「まとまり」
 - ・学年部や兄弟学年、特別支援学級の連携
 - ・校務分掌や校内研究における異学年チームでの活動推進

◆コミュニティ・スクールとしての取組

- 学校運営協議会の推進
- 地域学校協働本部との連携
 - ・北っ子先生 ・花いっぱい運動 ・地域みんなで挨拶運動 ・四地区懇談会 ・放課後子供教室

◆人権・同和教育概要

《本年度の重点目標》

- 自ら問い合わせをもち、主体的・対話的で深い学びの日常化をはかり、科学的認識力を培い、人間尊重の精神、自尊感情を身につけさせる。
- 互いに認め合い、相手意識、チーム意識のある集団作りに努め、互いに思いやる心情や支持的風土を育む。

	所在地	那珂川市片縄北1丁目15番1号		
	電話	952-7056	FAX	952-7097
	校長	村山 直樹	教頭	稻永 民子
				
理科の学習 (自ら学ぶ力の育成)		小中合同あいさつ運動 (自ら関わる力の育成)		

◆ 教育目標

「地域に愛着をもち、心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成」
(かしこい子ども、たくましい子ども、なかまとわになり人にやさしい子ども)

◆ 本年度の重点目標と具体的な取組

《本年度の重点目標》 「自ら学ぶ力」 「自ら健康になる力」 「自ら関わる力」 の育成

《具体的な取組》 学年チームを中心としながら組織的に教育活動の改善、充実を図ります。

○「自ら学ぶ力」を育みます

- ・学習規律や学び方の徹底
- ・本に親しむ機会を増やす
- ・読解力の涵養
- ・自分の考えを「書く」「話す」機会を増やす
- ・I C T 等の効果的、効率的な活用
- ・個別最適な学び(指導の個別化、学習の個性化)の実現
- ・情報活用能力の育成
- ・学級間で学習内容の定着度の共有
- ・家庭学習の促しと見届けの徹底
- ・教科担任制、交換授業など学級を超えた学年協働体制(学年担任制)の充実

○「自ら健康になる力」を育みます

- ・就寝時刻、メディア時間等の生活習慣に係る実態調査による実態把握
- ・子どもや保護者に生活習慣を整えることの大切さを継続的に伝える
- ・姿勢よく学習できるよう指導の徹底
- ・外遊びの励行、運動の質と量を保障した体育科学習、子どもが意欲的に取り組む体育的集会
- ・給食の時間、教科等における「食に関する指導」の充実
- ・登下校時や廊下での歩行など、子どもが落ち着いて安全に気を付けて行動する習慣が身に付くよう、全職員で日常的な指導と声かけを行う

○「自ら関わる力」を育みます

- ・片縄っこあいさつ運動
- ・挨拶の習慣が定着するように全職員の見届けと声かけ
- ・ありがとうカードによる良さの可視化と価値付け
- ・もくもくそうじが定着するよう
- に日常的、継続的な指導
- ・思いやりのある態度や言葉遣いの指導
- ・差別発言、いじめ等の問題行動についての迅速かつ組織的な対応

◆ コミュニティ・スクールとしての取組

○課題別コミュニティで、学校・家庭・地域が協働し、子どものよさを一層伸ばします。

- ・『かしこさ推進部』：自ら学ぶ力の向上…ふれあいスクール、史跡めぐり、公民館学習
- ・『たくましさ推進部』：自ら健康になる力の向上…片縄山登山・豚汁会、あそびの日
- ・『やさしさ推進部』：自ら関わる力の向上…あいさつ運動、地域見守り隊との触れ合い

◆ 人権・同和教育概要

《本年度の重点》

- 家庭・地域との協働的な教育活動の推進
- 那珂川北中ブロックにおける協働的な教育活動の推進
- ・筑紫地区人権教育研究交流推進委員会研究協力校として研究発表会(11月13日)

	<h1>安徳南小学校</h1>	<table border="1"> <tr> <td>所在地</td><td colspan="3">那珂川市上梶原1丁目1番1号</td></tr> <tr> <td>電話</td><td>953-6311</td><td>FAX</td><td>953-6218</td></tr> <tr> <td>校長</td><td colspan="2">落合 弘子</td><td>教頭 神代 純子</td></tr> </table>	所在地	那珂川市上梶原1丁目1番1号			電話	953-6311	FAX	953-6218	校長	落合 弘子		教頭 神代 純子	
所在地	那珂川市上梶原1丁目1番1号														
電話	953-6311	FAX	953-6218												
校長	落合 弘子		教頭 神代 純子												
	<p>金メダルあいさつ</p>	<p>進んで表現</p>													

◆教育目標

共に学び、心が響き合う実践力のある子どもの育成

《みなみ小の子ども》

みんなと力を合わせる子ども なに事にもチャレンジする子ども みずから勉強する子ども

◆本年度の重点目標と具体的な取組

重点目標「互いのよさを認め合い、進んで行動できる子どもの育成」
～進んで表現・進んであいさつ・進んで掃除～

○確かな学力をつけるシステムづくり

- ・読書タイムや読み聞かせ、うち読による読書活動の推進
- ・復習週間の計画的な実施やICT活用による基礎基本の定着
- ・思考力・判断力・表現力を育むためのなかがわスタンダードの活用、積み上げ

○チームワークを発揮する協働的な組織運営

- ・教科担当制や交換授業
- ・TT指導や少人数指導
- ・強化週間の実施（金メダルあいさつ週間・発表週間・もくもく掃除週間）

◆コミュニティ・スクールとしての取組

- 地域ボランティアや保護者による学習サポート
- 「南っ子がんばりカード」による家庭教育の充実
- 「地域のひと・もの・こと」を活用したふるさと学習（かしわ飯、ヤーコン料理など）の実施
- 安心・安全な生活のための登下校の見守り、五七五安全標語作成、引き渡し訓練
- お弁当の日の実施

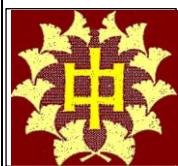
◆人権・同和教育概要

1 本年度の重点目標

- 互いのよさやちがいを認め合い、思いやりのある言葉と態度で人と関わることができる子ども
- 事象に潜む不合理、矛盾、差別を見抜き、正しい行動ができる子ども

2 具体的な取組

- 多様性を認め合うことができる学習の場を設定し、自尊感情や自己肯定感を高めるための活動や支援の工夫を行う。
- 一人一人の人権が大切にされる生徒指導や学年・学級経営を実践する。



コミュニティ・スクール 那珂川中学校



所在地	那珂川市仲3丁目19番1号		
電話	952-2111	FAX	952-0695
校長	稻永 誠也	教頭	出渕 崇
体育会			読書活動
			ICTを活用した授業
			地域貢献活動

◆ 教育目標

自律・自走し、相互承認を深め、想像力豊かに未来を切り拓く生徒の育成
【校訓】逞しい人 思いやりのある人 努力する人
【教育スローガン】 無限の可能性に挑戦



◆ 本年度の重点目標

当事者意識をもって主体的に行動し、他者と協働できる生徒の育成
○主体性の育成 ○社会性の育成 ○学力・体力の向上

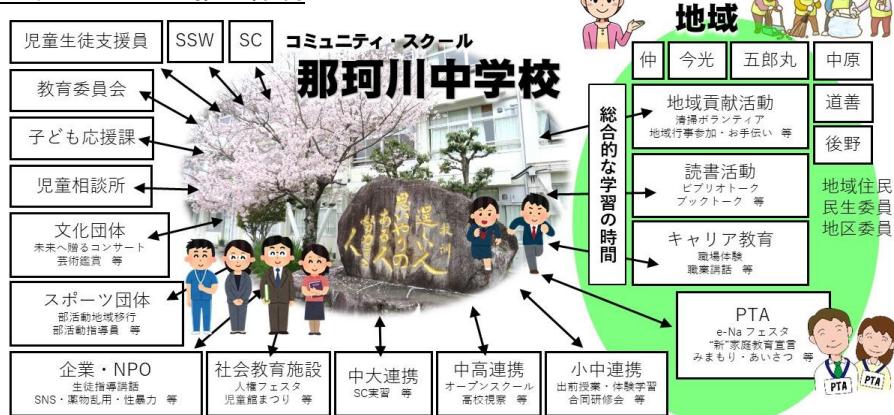
コミュニティ・スクール
那珂川

- 主体性・社会性を育む学校行事・生徒会活動・地域貢献活動の取組
- 誰一人取り残さない学校・学年・学級を目指す取組
- 確かな学力と体力の向上と授業改善の取組
- 校内OJTを活かしたミドルリーダーの育成
- チーム那珂川中組織の機能化・活性化
- 業務の効率化と働き方改革の推進
- 教育環境づくりの充実

◆ 7クールの取組

第1クール 4・5月	第2クール 6・7月	第3クール 8・9月	第4クール 10月	第5クール 11・12月	第6クール 1・2月	第7クール 3月
・入学式 ・地域清掃活動 ・体育会	・ブックトーク ・高校1日体験 ・地域貢献活動	・自然教室 ・職場体験 ・生徒会改選	・文化発表会 ・ビブリオトーク ・地域貢献活動	・授業改善 ・eNaフェスタ	・職業講話 ・修学旅行 ・小中交流会	・卒業式 ・クラスマッチ ・生徒総会

◆ コミュニティ・スクール推進体制



◆ 人権教育・同和教育概要

【目標】道徳教育や人権教育を通して、社会性の基盤となる多様性を理解する心情や思いやり、規範意識、人権に関する知識、人権感覚を育てる。

【取組】・多様性を認める心情や思いやり、規範意識の育成を主眼とした道徳授業の実施
 ・人権の大切さをテーマとした生徒集会や授業の実施

【学力・進路保障】

- ・すべての生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに「やればできる」という達成感を持たせることを目標に「繰り返し」を視点にした学力向上の取組を実施する。



那珂川南中学校



所在地	〒811-1223 那珂川市上梶原 1-2-1		
TEL	092-952-7915	Fax	092-952-6918
校長	中本 克典	教頭	田中 康子・安武 陽介
体育祭			文化発表会

◆教育目標

新たな時代を創造し、郷土を愛する生徒の育成

校訓：「創造」「協調」「実践」

◆本年度の重点目標

主体的に学び、他者と協働する生徒の育成

○ 学力・体力の向上 ○ 社会性の育成 ○ 主体性の育成

【学力・体力の向上】

- 主題研究を柱とした学力・体力の向上の取り組み
- 自立と社会参加に向けて個々の生徒のニーズに応える教育活動
- 学習意欲の向上や責任感・連帯感の涵養を図る部活動



人権フェスタ

【社会性の育成】

- 社会性の基盤を育む道徳教育・人権教育
- 社会的自立を目的とする生徒理解を基盤に据えた教育活動



地域貢献活動

【主体性の育成】

- 主体性・社会性を育む学校行事・生徒会活動・部活動
- 社会への関心を高め、自己実現の見通しをもたせる地域貢献活動・体験活動

◆コミュニティ・スクール

地域に生徒を返し、「地域を大切にする心」「コミュニケーション能力」「社会性」の育成を図ります。本校とブロックを組む4つの小学校と拡大コミュニティ・スクールを形成し、重点目標の実現に向け、協働した教育活動をすすめます。

◆人権・同和教育概要

あらゆる差別をなくしていく意思と人間性豊かで優れた実践力をもつ生徒を育てるため、学校の全教育活動を通して、系統的・発展的な同和教育に努めます



那珂川北中学校



「人間力」を育成するコミュニティ・スクールの創造
～学校・家庭・地域をつなぐ「鍛える教育」を通して～

所在地	那珂川市片縄西3-26-1			
電話	953-7887	FAX	953-7880	
校長	佐藤 茂史	教頭	森本 康資	
			地域貢献活動	

◆教育目標

人間力を身に付けた、地域を担う生徒の育成

◆本年度の重点目標と具体的な取組

【重点目標】志を持ち、自律的に学ぶ生徒の育成

- 自律的に学び、確かな学力の育成【創造】
(学力の向上、自律的に学びに向かう生徒を目指す)
- 基礎的な体力の育成【健康】
(体力の向上、運動時間の向上を目指す)
- 将来を展望した自己実現力の育成【自立】
(キャリアプランニング能力の向上を目指す)
- 地域に役立つ社会貢献力の育成【自立】
(地域貢献活動の参加延べ人数の向上、地域評価の向上を目指す)

具体的な取組

- 教育活動全般において「鍛える教育」の実施
「目標設定」→「くり返し努力」→「達成感」と過程を通して「やる気サイクル」をつくり出す教育
- 学校生活の基盤づくりとしての「晴動雨読」
早朝において晴天時は運動、雨天時は読書活動
- コミュニティ・スクールとしての家庭・地域連携
・役割の明確化・連携強化・組織の活性化・充実
・社会に開かれた教育課程の工夫・充実

◆コミュニティ・スクールとしての取組

○学校・家庭・地域の役割の明確化と連携強化

三者を「鍛える」というキーワードでつなげ、学校は「人間力を鍛える」、家庭は「自制心を鍛える」、地域は「社会性を鍛える」とし、具体的な連携の仕掛けを工夫し、充実させる。

○組織の活性化・充実

地域ごとの生徒組織「部伍会」、部伍長・地域代表・保護者・担当教師が参加する実働組織「那北中コミュニティ推進委員会」を設置する。また、地域の応援団「那北サポート隊」を設置し、活動を充実させる。

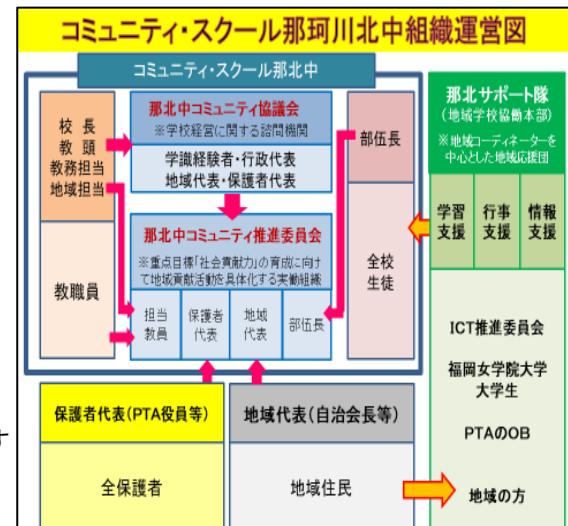
○社会に開かれた教育課程の工夫・充実

教育課程の工夫を通して、生徒が地域に出て活動する地域貢献活動の充実を図るとともに、保護者や地域の方が本校の教育活動に参加する大人参加型授業を充実させる。

◆人権・同和教育概要

那珂川北中学校人権・同和教育の目標

- 差別について科学的認識をもち、正しい知識を身につけた生徒の育成
- 差別に気づく感性をもった生徒の育成
- 差別をなくしていく意志と実践力をもった生徒の育成
- 学力を身につけ、将来の展望をもった生徒の育成



岩戸小学校那珂川中学校後野分校	所在地	那珂川市後野279番地2		
	電話	952-2721	FAX	951-7232
分校長		八尋 健次	教務	白石 哲也
正面玄関	正門	体育館		

◆教育目標

自他を尊重し、社会的自立を目指す児童生徒の育成
校訓 「根気」・「友愛」・「自立」

◆本年度の重点目標と具体的な取組

- (1) 学ぶ意欲の向上を目指す個に応じた「わかる授業」づくりの推進
 - ①学力と学ぶ意欲の実態把握の推進
 - ②個に応じた学習指導法の工夫・改善
 - ③基礎的・基本的学習内容の定着と考える力や表現する力の育成
- (2) 規範意識の育成と自尊感情の醸成をめざす生徒指導の充実
 - ①共感的な生徒指導の推進
 - ②振り返りを中心とした教育相談の充実
 - ③自尊感情や感謝する心の育成
- (3) 児童生徒が主体的に改善・克服するための自立活動の推進
 - ①個別の自立支援計画による段階的・継続的な個別指導の展開
 - ②情緒の安定や状況を理解した人間関係の形成
 - ③健康、安全に関する指導の徹底

◆人権・同和教育概要

本校は、児童福祉法第44条によって福岡学園に措置された学齢期の子どもたちに普通教育を授けるための小・中学校一体型の公立学校である。在校期間はそれぞれの子どもの実態によって違いがあるが、

一様に家庭環境、生活環境などに恵まれず、阻害されてきた児童生徒である。したがって、学力を保障することを大切にするとともに、望ましい人権感覚を身につけさせることは、近い将来、出身校に復帰したり、社会人となったりしたときに、必要な資質・能力や態度となるであろう。

この観点に立ち、福岡県同和教育基本方針、那珂川市同和教育基本方針に則り、かつ文部科学省「人権教育の指導方法の在り方」「第三次とりまとめ」を踏まえ、本校の教育活動の全領域にわたって人権・同和教育の推進・充実に努める。

<h1>岩戸幼稚園</h1> 	所在地	那珂川市西隈1丁目9番17		
	電話	952-2006	FAX	952-3176
	園長	鳥飼 尚枝	主任	田代 美樹
	    <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 幼稚園で、そして、地域の中で、豊かな生活体験を充分にし、たくましく育っていきます。 </div>			

◆教育目標

「生き生き遊び、豊かに学ぶ、心身共に健やかでたくましい幼児の育成」

- 〔めざす幼児像〕
- ・身近な環境に主体的にかかわり、工夫したりチャレンジしたりする幼児
 - ・自分が好き、友達が好きな幼児
 - ・豊かに感じ、豊かに表現する幼児
 - ・友達とのかかわりを深め、思いやりのある幼児

◆本年度の重点目標と具体的な取組

「異年齢での遊びの中で、友達に親しみや思いやりの気持ちをもつ幼児の育成」

- (1) 遊びや生活を通して育まれる「資質・能力」を十分に踏まえ、教育目標の具現化を目指して、本園の教育課程に基づいた保育を進めていく。
- (2) 主体的な遊び、総合的な活動を通して、異年齢の幼児が交わり、一緒に遊んだり、生活をしたりする中で、友達に親しみをもち、思いやりの気持ちをもつよう環境構成のあり方を探る。
- (3) 園生活の中で、幼児が人の話に興味をもったり、注意して聞いたりする保育の工夫をする。
- (4) 自然、人材、公共施設など地域の資源を積極的に活用し、園内だけでは得られない豊かな生活体験の工夫をする。
- (5) 岩戸小学校と保育・授業のねらい及び活動計画案を立案・共有化し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して、育ちや学びをつなぐ接続ができるようにしていく。
- (6) 豊かな人権感覚をもち、幼児や保護者に寄り添い、信頼される教師を目指す。
- (7) 家庭と連携した生活習慣の定着や、命の尊さを基本にした安心・安全な活動ができる保育活動の展開と充実を図る。
- (8) 特別な支援を必要とする幼児については、保護者、専門機関との連携を図り、個々に応じた支援、援助に努める。

◆人権・同和教育概要

「愛情と信頼を受け、自尊感情をもち、互いの個性を認め合い、育ち合う幼児の育成」

- ・一人一人の人権が尊重される環境を整え、豊かな感性をもつ幼児の育成と互いの個性を認め合う仲間づくりを進めていく。
- ・検証軸の幼児の実態を出し合い、共通理解に努めると共に、教師のかかわり方や保育のあり方を探る。

令和7年度 那珂川中学校ブロック拡大コミュニティ・スクール推進計画

1 本年度の取組の概要

(1) 目標

子どもの進路を保障し、地域社会の担い手を育てる那中ブロック拡大コミュニティ・スクール

- ・地域の子どもたちの豊かな学びを育むために、学習習慣や規範意識に係る小中連携を推進し、家庭や地域と連携した活動を行う。

(2) 推進内容

- ・拡大学校運営協議会を中心に、小・中学校・家庭・地域の役割を明確にし、具体的な活動方針を協議していく。
- ・「学力の向上」「主体性・社会性の向上」「啓発・発信」の3つのテーマに沿って、小・中学校・家庭・地域が連携して行う活動を推進する。

(3) 推進計画

① 拡大学校運営協議会委員

中学校・・・地区6名、PTA1名、地域学校協働本部2名、学校3名、
学識経験者1名、市教委2名

小学校・・・PTA1名、学校2名

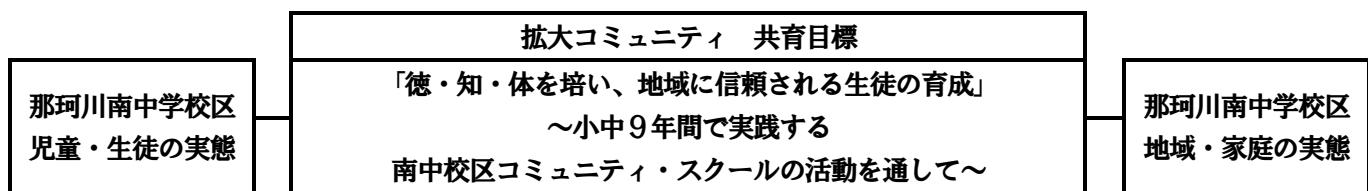
合計 19名

② 計画



月	拡大学校運営協議会	学力向上	主体性・社会性の向上	啓発・発信
6				・学校だより
7	第1回ブロック拡大学校運営協議会 7月9日(水) 運営方針、年間計画の協議	・小中合同研修会	・小中合同研修会	・学校だより ・C Sだより ・研究だよりの掲示
8		・中学校の定期考查の前に家庭学習充実週間の実施 ・ノーメディア	・夏のラジオ体操 ・地域行事への参加 ・赤ペン先生	・“新”家庭教育宣言の取組
9			・小中連携（生徒会）	・学校だより
10			・地域行事への参加 ・赤ペン先生 ・小中連携（生徒会）	・学校だより
11			・e-Naフェスタ ・小中連携（生徒会）	・学校だより
12			・小中連携（生徒会）	・学校だより
1			・中学校体験授業と生徒会執行部を中心とした交流活動	・学校だより
2	第2回ブロック拡大学校運営協議会 2月25日(水) ・小中連携の取組 ・年度の最終報告 ・学校関係者評価	・中学校の定期考查前の勉強期間に学習週間の設定 ・ノーメディア		・学校だより ・“新”家庭教育宣言の取組

令和7年度 那珂川南中学校区拡大コミュニティ・スクール共育構想図



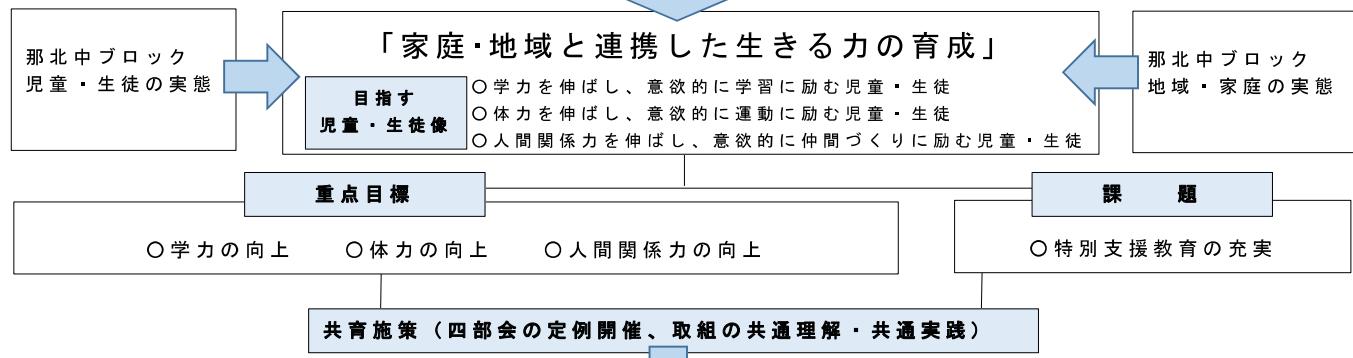
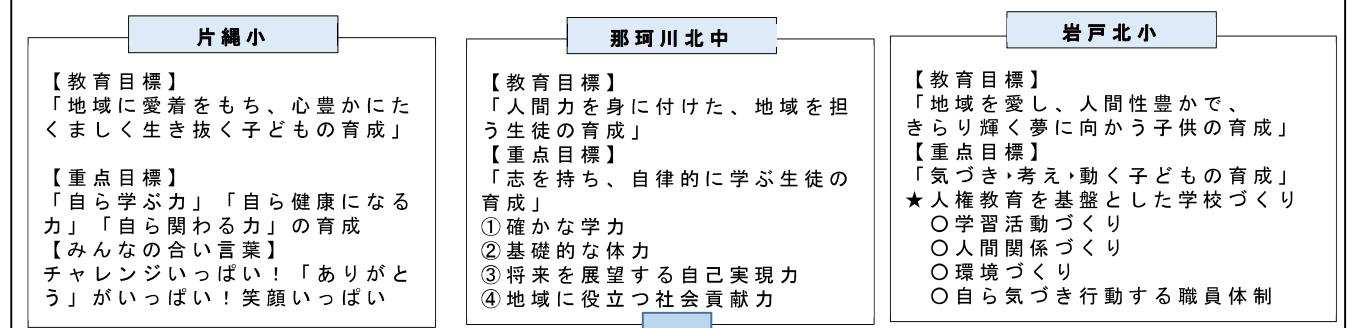
那珂川南中学区ブロック コミュニティ・スクール			
那珂川南中学校			
【教育目標】 新たな時代を創造し、郷土を愛する生徒の育成 【重点目標】 主体的に学び、他者と協働する生徒の育成			
南畠小学校	岩戸小学校	安徳小学校	安徳南小学校
【教育目標】 南畠での学びと育ちに誇りをもち、ふるさとを大切にする子どもの育成 【重点目標】 「ありがとう・どうしたの・すごいね」に気づき・やってみる(子どもを育てる)南畠小	【教育「共育」目標】 ふるさと岩戸を愛し、共に未来社会を創ることの育成 【重点目標】 「コトバ」の力 何ごとにも「やってみよう」と取り組み、「あいさつ・ありがとう」を大切にし、「大丈夫・何とかなる」と可能性を信じ、最後まで「やりぬく」能力・資質の育成	【教育目標】 ふるさとを愛し、すすんで行動(考動・考動)できる子どもの育成 【重点目標】 「思いやり算」で考動し、(安)・(と)・(く)ができる子どもの育成 ～みんなが「今日も楽しさを見つける」学校100%を目指して～	【教育目標】 共に学び、心が響き合う実力のある子どもの育成 【重点目標】 互いのよさを認め合い、進んで行動できる子どもの育成

重点目標	仲間づくり	学力向上	健康の向上
具体的な取り組み			
ブロック	一斉「なみなみの日」	学習強化週間の共同実施	一斉「なみなみの日」
那珂川 南 中学校	他者を尊重しながら協働し、社会貢献する生徒 ①社会性の基盤を育む道徳教育・人権教育 ・道徳や生徒集会、市人権フェスタへの参加 等 ②社会的自立を目的とする生徒理解を基盤に据えた教育活動	目標をもって学びを深め、自己の考えを創出する生徒 ①主題研究を柱とした学力・体力の向上 ②「学習の振り返り」及び「学び方を選択する場面の設定」に重点をおいた学習活動の実施 ・繰り返しによる知識・技能の定着 ・振り返りによる学習の調整 ・単元や題材など学習のまとめを見通した学習評価 ③学力・体力向上の基礎をつくる取組の実施 ・朝読書、補充学習、帰り自習 ・体力向上を図る「1校1取組」運動、部活動と連携した体力向上の取組	心身ともに健康で、物事に主体的に関わり、最後までやり抜く生徒 ①生徒の自主運営による感動ある学校行事 ・体育祭(学校づくり)、文化発表会(学級づくり)、自然教室・修学旅行(学年づくり) ②生徒会活動や、協働して目標を達成する部活動 ③社会への関心を高め、自己実現の見通しをもたせる地域貢献活動・体験活動

	ふるさとへの誇りを育てる	確かな学力につける	生活習慣・学習習慣をつくる
	①製作体験活動支援…地域の芸術家との製作体験、「南畠芸術の里発表会」での作品展示 ②自然に関心をもち大切にする…稻作体験、生命を慈しみ故郷の自然を守る意識の醸成 ③地域との交流活動と安全の確保…地域発見活動「大冒険だ、南畠」支援、挨拶と登下校見守り活動、地域行事での子どもの活動の場の設定(もちつき・千灯明・夏祭りなど)、防犯・防災の活動	①基礎的・基本的な内容の定着を図る…ノート指導の徹底、習熟・対話活動、算数の習熟・昼トレ、チャレンジ教室での定着・習熟指導 ②意欲と向上心を育む…自律心を育む活動、読書タイムとお話しボランティア「ひだまり」の活用 ③どのように学ぶかを重視した授業…問題解決のプロセスを大切にし「わかる」「できる」を実感できる授業、学びがいのある子ども主体の授業づくり ④ICTの積極的な活用	①学習習慣をつくる…決めた時刻・決めた場所で学習、生活習慣家庭学習強化週間の取組、毎月19日に家読の日による学習習慣の定着 ②生活習慣をつくる…メディアについての親子学習、食育の日(毎月19日)、お弁当の日、早寝・早起き・朝ごはんの習慣 ③地域社会の「人」をつくる…あいさつ習慣、規範意識の育成、家族や地域の人へのあいさつの習慣の定着
南畠 小学校	故郷への誇りを育てる	確かな学力につける	生活習慣・学習習慣をつくる
岩戸 小学校	① 地域の人・もの・ことを生かした学習を行う。(生活科、社会科、道徳科、総合的な学習の時間など) 低学年:地域のよさを知り、それを味わう。 中学年:地域のことを見つめ直し、視野を広げる。 高学年:地域への貢献意識を高めたり、広い視野で将来(発展)について考えたりする。 ② 地域行事への積極的な参加を呼びかける。 ③ 地域コーディネーターを中心とした地域ボランティアの活用と啓発のための広報活動を行う。	① 朝・昼・帰りの徹底 朝:1分間トレーニング(線引き・計算・タイピング)を毎日実施する。 昼:振り返り・読書タイムを設定し、一日の学習の振り返りを岩戸っ子ノートに記述させる。 帰り:岩戸タイムを設定し、学習の基礎・基本の徹底を図る。(計算活用ドリルや国語アルファなど) ② 主題研修(国語科・算数科を中心とした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指す。 ③ ICTを活用した効果的・効率的な授業づくりを行う。	① 健康観察、朝食摂取について、岩戸っ子ノートに毎日記録し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ② 岩戸っ子ノートに家庭学習のチェック欄を設け、保護者に確認をしながら、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ③ 定期的に生活習慣チェックシートを配付して、メディア使用についても見直すことができるようとする。 ④ 外部講師を招聘した規範意識育成授業や保護者への啓発も行う。 ⑤ 年2回の学校保健委員会を実施する。
安徳 小学校	(安) 心づくり部 「日常挨拶」「返事」「お礼」の態度化 <input type="checkbox"/> 「あはよう」の挨拶 <input type="checkbox"/> 「はい」の返事 <input type="checkbox"/> 「ありがとうございます」のお礼	(と) 学びづくり部 「三構え」と「表現」の態度化 <input type="checkbox"/> 「物構え(準備)」 <input type="checkbox"/> 「身構え(立腰)」 <input type="checkbox"/> 「心構え(傾聴)」 <input type="checkbox"/> 「表現(伝え方)」	(く) 体づくり部 「もくもく掃除」と「ぐんぐん体操」の態度化 <input type="checkbox"/> 「もくもく掃除」(昼) <input type="checkbox"/> 「ぐんぐん体操」(朝)
安徳南 小学校	ふるさとへの誇りを育てる	確かな学力につける	生活習慣・学習習慣をつくる
	①「地域のひと・もの・こと」を活用した「ふるさと」意識の高揚 ②安心・安全な生活…登下校の見守り隊、五七五交通安全標語運動 ③伝統料理伝承…かしわ飯、ヤコーン料理づくり	①基礎基本の定着を図る南っ子先生(地域・保護者による学習ボランティア)の実施 ②積極的な交換授業の活用による学ぶ意欲と基礎基本の定着 ③読書タイム・読み聞かせ・うち読による読書活動の推進	①強化週間の実施…金メダルあいさつ週間、発表週間、黙々掃除週間 ②家庭教育の充実…「南っ子がんばりカード」による家庭学習及び生活の振り返り ③お弁当の日の実施

令和7年度 コミュニティ・スクール那北中ブロック共育構想

コミュニティ・スクール那北中ブロック



学力部会	体力部会	人間関係力部会	特別支援教育部会
取組の視点	取組の視点	取組の視点	取組の視点
○授業改善 ○家庭学習の充実	○運動の日常化 ※部活動の充実（中学のみ）	○児童会・生徒会・部会の充実 ○不登校未然防止の取組	○通常学級における個のニーズに応じた取組
具体的な取組	具体的な取組	具体的な取組	具体的な取組
【片縄小】 ○学習に取り組む上で基盤となる学習規律や学び方の徹底 ○本に親しむ機会の確保及び文章を丁寧に読む習慣を付け読み解力の育成 ○学習の中で自分の考えを「（図や言葉で）書くこと」「話すこと」の機会を増やす ○ICT等の効果的、効率的な活用による個別最適な学びの実現 ○家庭学習の促しと見届けの徹底	【片縄小】 ○生活習慣に係る実態把握及び実態に基づいた児童や保護者への啓発 ○姿勢よく学習できるよう指導の徹底 ○外遊びの励行、運動の質と量を保障した体育科学習、意欲的に取り組む体育的集会 ○食に関する指導の充実 ○安全な行動の習慣化を図る日常的な指導	【片縄小】 ○挨拶の習慣が定着するよう「子ども達が進んで取り組む片縄っこ挨拶運動 ○「ありがとうカード」による子どものよさの可視化と価値付け ○声を出さず時間いっぱい掃除をする「もくもくそうじ」の定着 ○思いやりのある態度や言葉遣いについての指導 ○アンテナを高く張り、問題行動を見過ごすことのない、迅速かつ組織的な対応	【片縄小】 ○他機関等との連携 SCや他機関と連携しながら、児童の気になる行動等に対して速やかに組織的に対応する。 ○月1回の特別支援委員会や校内研修等を通して、困り感のある児童への理解を深め、よりよい支援方法について教職員間で共有する
【那北中】 ①課題達成学習の実施 課題達成による達成感を味わわせることで、「やる気」という駆動力をつくり出し、自律的に学ぼうとする意欲を高める。 ②サクセスノートの活用 独自の生活記録・自学ノートで、家庭学習に活用させるとともに「努力の見える化」を図る。 ③キャリア教育の充実 啓発的な体験活動の前倒しと計画的な進路学習を行う。	【那北中】 ①「晴れ雨読」の実施 毎朝晴天時には運動を、雨天時には読書を年間を通じて実施する。 ②保健体育科の補強運動 授業導入時に、HITT（高強度インターバルトレーニング）を実施する。 ③部活動の活性化 部活動生集会・部長会の開催、練習時間の延長等の取組を実施する。	【那北中】 ①生徒会活動の充実 学校の目標や課題に対する取組を焦点化させるとともに、小学校児童との交流を充実させる。 ②部伍会活動の充実 部長をを中心に地域貢献活動を充実させる。 ③「ロールレタリング」の実施 新1年生より、ロールレタリングに取組み、他者意識とメタ認知能力の向上を図る。	【那北中】 ①早期発見・早期対応 毎年5月に全学年スクリーニングを実施し、専門家や保護者との連携による実態把握・対応を行う。 ②専門家による研修実施 每年専門家を招いての個のニーズに応じた支援方法を学ぶ。
【岩戸北小】 ○基礎・基本の定着 ・「傾聴」「協働」を基盤とした学習の進め方や学び方の指導の徹底 ・全校統一した「スキルタイム」の共通実践 ・個に応じた「算数タイム」（5、6年算数科補充・発展）の指導強化 ・学年部長制を生かした指導方法改善	【岩戸北小】 ○体力を高め、運動の楽しさを味わわせる体育指導の充実 ○自分のこと、自分達のこと意識で「避難・防犯訓練、平和集会」に臨み、自他の命や平和を守る意識の醸成 ○食育指導の充実 - 自らの食生活を見つめ直し、食生活をつくっていく食に関する指導の充実	【岩戸北小】 ○学級力の向上 - 個々の成長と学級の成長を実感できる教室環境づくり ○人権教育、道徳教育の充実 ○「挨拶」「黙働掃除」等の基本的生活習慣の継続的・計画的指導	【岩戸北小】 ○「あいさつ運動、もくもく掃除、廊下歩行」等による全校児童教職員の関係づくり ○「なかよしタイム、なかよし集会」（縦割り交流）による集団づくりの積み上げ ○職員研修の充実 ○早期発見・早期対応

資料編

- 1 歴代教育委員・教育委員長・教育長
- 2 沿革
- 3 学校給食
- 4 学校施設
- 5 市立小・中学校・幼稚園一覧
- 6 園児・児童・生徒数及び学級数の推移
- 7 文化財

1 歴代教育委員・教育委員長・教育長

(那珂川町発足以降)

(1) 歴代教育委員

(氏名)	(任期)
永田保太郎	昭和 31. 4. 1～昭和 31. 9. 30
渡邊義之助	31. 4. 1～ 31. 9. 30
藤野喜佐男	31. 4. 1～ 31. 9. 30
安藤 新	31. 4. 1～ 31. 9. 30
高原 一道	31. 4. 1～ 31. 9. 30
萬 豊	31. 10. 1～ 35. 9. 30
宇野大五郎	31. 10. 1～ 38. 9. 30
上野 富重	31. 10. 1～ 39. 4. 30
重松 仁志	35. 10. 1～ 46. 5. 31
日下部弥太郎	36. 10. 1～ 44. 9. 30
前田鉄次郎	36. 10. 1～ 44. 9. 30
藤野善四郎	38. 10. 1～ 42. 5. 30
	42. 10. 1～ 45. 5. 30
添田ユキノ	39. 5. 1～ 45. 9. 30
高嶋 久一	44. 10. 1～ 56. 9. 30
金丸 政己	44. 10. 1～ 48. 9. 30
山本 義夫	45. 6. 1～ 55. 10. 1
中島 静雄	45. 10. 1～ 49. 9. 30
松延 陽一	46. 8. 1～ 51. 9. 30
	55. 10. 2～ 59. 10. 1
永田 多	48. 10. 1～平成 元. 9. 30
添田 福美	49. 10. 1～昭和 52. 1. 4
井上 馨	50. 10. 4～ 58. 10. 3
	59. 10. 2～ 63. 10. 1
蓑原 淨海	52. 3. 7～ 54. 12. 31
池田 叶	55. 1. 1～平成 2. 9. 30
結城 三夫	56. 10. 1～昭和 60. 9. 30
加藤 吉良	58. 10. 4～平成 3. 10. 3
内野 正之	60. 10. 1～ 元. 9. 30
富田 正幸	63. 11. 1～ 14. 11. 23
渡邊 美治	平成 元. 4. 1～ 9. 10. 2
川崎 優子	元. 10. 3～ 9. 10. 2
竹中 正基	2. 10. 1～ 14. 9. 30
八尋 重光	3. 10. 4～ 11. 10. 3
勝野 温	9. 10. 3～ 17. 10. 2
田代満智子	9. 10. 3～ 17. 10. 2
井上 俊二	11. 10. 4～ 19. 10. 3
高瀬ツユ子	14. 10. 1～ 22. 9. 30
篠田 直喜	15. 1. 1～ 20. 10. 31
田村 英一	17. 10. 3～ 29. 10. 2
井上 幹子	17. 10. 3～ 25. 10. 2
森重 暢之	19. 10. 4～ 30. 1. 31
大島 和寛	20. 11. 1～ 28. 3. 31
池田佐恵子	22. 10. 1～令和 8. 9. 30
田中 絹代	25. 10. 3～平成 29. 10. 2
渡辺美佐子	29. 10. 3～令和 7. 10. 2
常深 陽子	29. 10. 3～ 6. 10. 2
高木 義則	30. 3. 7～ 5. 10. 3
小森 晃	令和 5. 10. 4～令和 9. 10. 3
西 善啓	6. 10. 4～ 10. 10. 3

注) 教育委員は、昭和31年10月から36年
9月まで定数3人

(2) 歴代教育委員長

(氏名)	(任期)
渡邊義之助	昭和 31. 4. 1～昭和 31. 9. 30
宇野大五郎	31. 10. 1～ 38. 9. 30
藤野善四郎	38. 10. 1～ 45. 5. 30
高嶋 久一	45. 5. 31～ 51. 10. 9
山本 義夫	51. 10. 10～ 55. 10. 1
高嶋 久一	55. 10. 6～ 56. 9. 30
松延 陽一	56. 10. 14～ 59. 10. 1
井上 馨	59. 10. 4～ 63. 10. 1
池田 叶	63. 10. 4～平成 2. 9. 30
渡邊 美治	平成 2. 10. 1～ 9. 10. 2
八尋 重光	9. 10. 3～ 11. 10. 3
勝野 温	11. 10. 4～ 17. 10. 2
田村 英一	17. 10. 3～ 28. 3. 31

(3) 歴代教育長

(氏名)	(任期)
高原 一道	昭和 31. 4. 1～昭和 31. 9. 30
上野 富重	31. 10. 1～ 35. 9. 30
重松 仁志	35. 10. 1～ 46. 5. 31
山本 義夫	46. 8. 1～ 50. 9. 30
井上 馨	50. 10. 6～ 58. 10. 3
池田 叶	58. 10. 4～ 61. 9. 30
内野 正之	61. 10. 6～ 63. 9. 30
富田 正幸	63. 11. 2～平成 14. 11. 23
篠田 直喜	平成 15. 1. 6～ 20. 10. 31
大島 和寛	20. 11. 1～ 28. 3. 31
安川 正郷	28. 4. 1～令和 4. 3. 31
木下 尊雅	令和 4. 4. 1～ 10. 3. 31

2 沿革

- 明治 7. 1. 成竹に成竹小学校開校 (南畠小学校の前身)
4. 五ヶ山に成竹小学校五ヶ山分校開校 (後に南畠小学校と統合)
5. 松木に松木小学校開校 (安徳小学校の前身)
8. 別所に別所小学校開校 (岩戸小学校の前身)
9. 5. 成竹小学校を埋金小学校に改称
19. 11. 小学校令の制定により埋金小学校、別所小学校、松木小学校を埋金尋常小学校、別所尋常小学校、安徳尋常小学校と改称
12. 埋金尋常小学校を埋金簡易科小学校と改称
20. 8. 別所尋常小学校を岩戸尋常小学校と改称
9. 埋金簡易科小学校を南畠尋常小学校と改称
22. 4. 町村制施行により南畠村、岩戸村、安徳村誕生
26. 4. 道善に第二岩戸尋常小学校開校
37. 4. 第一岩戸尋常小学校 (別所) 、第二岩戸尋常小学校 (道善) を廃し、西隈に岩戸尋常高等小学校を開校
5. 西畠尋常小学校開校 (後に岩戸小学校と統合)
昭和 16. 4. 国民学校令の制定により南畠尋常高等小学校、安徳尋常高等小学校、岩戸尋常高等小学校、西畠尋常小学校、五ヶ山尋常小学校を南畠国民学校、安徳国民学校、岩戸国民学校、西畠国民学校、五ヶ山国民学校と改称
22. 4. 学制改革にともない南畠村立南畠中学校、岩戸・安徳村学校組合立天徳中学校開校。
南畠国民学校、安徳国民学校、岩戸国民学校、西畠国民学校、五ヶ山国民学校を南畠小学校、安徳小学校、岩戸小学校、西畠小学校、五ヶ山小学校と改称
25. 4. 後野に南畠・岩戸・安徳三ヶ村組合立筑紫野高等学校岩戸分校 (定時制) 開校
30. 4. 筑紫野高等学校岩戸分校を福岡県立福岡農業高等学校岩戸分校に改称
8. 安徳村立安徳幼稚園開園
31. 4. 南畠村、岩戸村、安徳村三村合併し那珂川町誕生
36. 4. 福岡県立福岡農業高等学校岩戸分校 (定時制) を廃し、那珂川町立南福岡高等学校 (全日制) を開校
38. 6. 南畠幼稚園、南畠幼稚園五ヶ山分園、岩戸幼稚園開園
39. 2. 那珂川町立南福岡高等学校を那珂川町立福岡女子商業高等学校と改称
39. 12. 片縄に町立福岡女子商業高等学校校舎移転・新築
4. 西畠小学校を岩戸小学校に、五ヶ山幼稚園を南畠幼稚園に統合
4. 後野 (福岡女子商業高校旧校舎跡) に中央公民館設置
41. 4. 天徳中学校と南畠中学校を統合し、那珂川中学校と改称
4. 後野に福岡県立福岡学園設置。岩戸小学校後野分校、那珂川中学校後野分校開校
4. 五ヶ山小学校を南畠小学校に統合
4. 埋金に南畠地区公民館開館
45. 11. 福岡女子商業高等学校にコンピュータ導入
48. 4. 岩戸北幼稚園開園
49. 5. 埋金に町民プール新築
9. 第1回町民体育大会開催
50. 4. 安徳北小学校、岩戸北小学校開校
4. 中央公民館増築
51. 2. 第1回町民の文化展開催
52. 4. 安徳東幼稚園開園
54. 6. 西畠運動公園に「西畠野球場」「昭和の森」新設

55. 2. 西畠野球場に夜間照明施設設置
 4. 那珂川南中学校開校
 5. 安徳幼稚園園舎移転・新築
57. 3. 自然観察の森設置
 5. 町民体育館（屋内運動施設）開館
 5. 恵子児童館開館
 5. 部落解放総合センター設置
 6. 岩戸北小学校が人権の花（ひまわり）運動推進校に決定
58. 2. 花いっぱい運動実行委員会発足
 4. 北地区公民館開館
 4. 片縄小学校開校
 4. 安徳小学校 100 周年記念式
 7. 安徳小学校創立 100 周年と卒業記念を兼ね校庭に中原古墳を復元（児童の手作り）
59. 4. 岩戸北、安徳北小学校 10 周年記念式
60. 2. 恵子教育集会所増改築
63. 3. 岩戸幼稚園園舎移転・新築
- 平成元. 10. 南畠小学校 100 周年記念式
 11. 那珂川南中学校 10 周年記念式
 2. 10. 福岡女子商業高等学校 40 周年記念式
 3. 9. 道徳教育推進町として文部省の指定を受ける
 10. 中学校にコンピュータを導入
4. 3. 南畠幼稚園移転・新築
 9. 学校週 5 日制（月 1 回第 2 土曜）開始
 12. 片縄小学校 10 周年記念式
 5. 5. 教育関係者がアメリカのサンマルコス市訪問
 8. サンマルコス市から交流教師・生徒初来町
6. 1. サンマルコス市教育委員会と姉妹交流の開始
 2. ミリカローデン那珂川落成
 3. 南畠地区公民館改築
 3. 安徳東幼稚園廃園
 4. ミリカローデン那珂川開館
 8. 教師、生徒（高校生、中学生）サンマルコス市へ研修派遣
 8. 外国語指導助手（ALT）活用授業開始
 11. 岩戸北小学校 20 周年記念式
7. 10. 南畠小学校県福祉教育研究委嘱を受ける
 10. 那珂川南中学校研究指定委嘱「自らのよさを意欲的に磨き続ける生徒の育成～課題や課題解決方法などの自己決定の場を通して～」（平成 5～7 年度）研究発表会
 11. 岩戸北幼稚園県研究指定委嘱「幼児一人一人が自ら考え意欲的に活動する姿を求めて」（平成 5～7 年度）研究発表会
 12. 安徳北小学校開校 21 周年記念式
8. 4. 安徳南小学校開校
 5. 安徳南小学校文部省研究「豊かな心を育む教育推進」教育事業の委嘱を受ける
 11. 岩戸小学校文部省指定「学校週 5 日制調査研究」研究発表会
 11. 安徳北小学校福岡地区小学校図画工作教育研究発表会
 12. 南畠小学校文部省福岡県研究「ふるさと交流学習」ふるさとフェスタ in 南畠開催
9. 1. 梶原運動広場夜間照明灯防球フェンス設置
 5. 「衛生管理推進地域指定事業」文部省の指定を受ける

6. 那珂川中学校、安徳北小学校、片縄小学校が「小・中学校間連携を生かした授業改善を求めて」を研究主題とする 福岡県重点課題研究推進指定を受ける
10. 安徳南小学校文部省研究「豊かな心を育む教育推進事業」研究発表会
10. グリーンピアなかがわ人工芝スキー場体験学習実施
11. ミリカローデン那珂川屋内プール開館
12. 岩戸・岩戸北・安徳南小学校にコンピュータ導入
10. 5. 「道徳的実践活動推進事業」（平成 10～12 年度）文部省の指定を受ける
10. 安徳・安徳北小学校にコンピュータ導入
11. 10. 片縄・南畠小学校にコンピュータ導入
11. 片縄小学校「衛生管理推進地域指定事業」（平成 9～11 年度）研究発表会
11. 第 1 回生涯学習フェスティバル in 那珂川開催
12. 3. 町民体育館（屋内運動施設）増改築
5. 「食生活に関する教育実践事業」（平成 12・13 年度）文部省の委嘱を受ける
5. 「学校給食における学校・家庭・地域の連携推進事業」（平成 12・13 年度）日本体育・学校健康センターの委嘱を受ける
5. 「小・中連携教育実践事業」（平成 12・13 年度）文部省の委嘱を受ける
10. 「道徳的実践活動推進事業」（平成 10～12 年度）研究発表会及び「子どもフォーラム」開催
10. 町民体育大会を健康スポーツフェスタに名称変更
13. 4. 適応指導教室を中央地区公民館内に開設
10. 「小・中連携教育実践事業」（平成 12・13 年度）研究発表会
14. 1. 「食生活に関する教育実践事業」（平成 12・13 年度）研究発表会
3. 町民プールを南畠小学校プールに改築
4. 完全学校週 5 日制開始
4. 岩戸北幼稚園で 3 歳児保育開始
9. 外国語指導助手（A L T）2 名体制へ
11. 片縄小学校 20 周年記念式
11. 岩戸小学校 100 周年記念式
16. 4. 那珂川北中学校開校
5. 那珂川北中学校特別教室等開放開始
11. 岩戸北小学校 30 周年記念式
11. 片縄小学校福岡地区生活科研究発表会
17. 1. 岩戸小学校「学力向上フロンティアスクール実践事業」（平成 14～16 年度）研究発表会
4. 中学校完全給食（民間委託共同調理方式）開始
6. 那珂川北中学校が福岡県重点課題研究推進指定「基礎的・基本的な学力の定着をめざした学習指導の在り方へ生徒指導の機能を生かした学習環境づくり・授業づくりの工夫を通して～」（平成 17～19 年度）を受ける
11. 安徳南小学校 10 周年記念式
18. 4. 那珂川町弓道場開場
4. ミリカローデン那珂川に指定管理者制度導入
11. 安徳小学校福岡地区社会科研究発表会
19. 4. 岩戸北小学校給食調理業務を民間委託
4. 小学校授業改善研究大会開始
11. 福岡女子商業高等学校「女子商マルシェ」開始
20. 4. 安徳地区 3 小学校の通学区域見直し
4. 片縄小学校給食調理業務を民間委託
21. 4. 岩戸小学校 1 年生 35 人以下学級実施、安徳北小・安徳南小少人数指導開始

11. ミリカローデン那珂川駐車場拡張工事
 22. 3. 学校 I C T 環境設備事業（電子黒板・コンピュータ）
 3. 安徳幼稚園廃園
 4. 安徳北小学校給食調理業務を民間委託
 4. 那珂川北中学校、片縄小学校、岩戸北小学校にコミュニティ・スクール推進委員会を設置
 23. 5. 那珂川北中学校、片縄小学校、岩戸北小学校を地域運営学校とする
 25. 2. 勤労青少年ホーム改修
 4. 安徳小学校給食調理業務を民間委託
 4. 那珂川中学校、安徳北小学校、那珂川南中学校、安徳小学校、南畠小学校、岩戸小学校、安徳南小学校にコミュニティ・スクール推進委員会を設置
 26. 4. 那珂川中学校、安徳北小学校、那珂川南中学校、安徳小学校、南畠小学校、岩戸小学校、安徳南小学校を地域運営学校とする
 11. 安徳小学校 130 周年記念式
 27. 2. ミリカローデン那珂川噴水周辺整備
 3. 小・中学校防犯カメラ設置
 4. 那珂川町体育施設等予約システム運用開始
 4. 那珂川町療育センター内に特別教育支援センターを設置
 5. 文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」（平成 27～29 年度）研究指定及び福岡県「英語教育推進事業」研究指定を受ける（那珂川南中学校、安徳小学校、岩戸小学校、南畠小学校、安徳南小学校）
 7. 文部科学省「I C T を活用した教育推進自治体応援事業」（平成 27・28 年度）の指定を受ける（那珂川中学校、那珂川南中学校、那珂川北中学校）
 28. 2. 町立中学校 3 校に計 123 台のタブレット端末を整備
 29. 4. 町立福岡女子商業高等学校を学校法人八洲学園へ移管
 6. 那珂川中学校が福岡県重点課題研究推進指定「思考力・判断力を培い、主体的に表現できる生徒の育成 - ICT を活用し「問い合わせ」を研究する授業を通して - 」（平成 29～令和元年度）を受ける
 9. 中学校民間教育団体活用スペシャル講座事業「N スペ講座」開始
 10. 地域学校協働活動事業放課後子供教室開始（安徳小、片縄小、南畠小）
 30. 4. 町立小学校 7 校にスクールカウンセラーを配置
 9. 児童の英語コミュニケーション能力育成事業（南畠小学校でWEB会議システムを活用した海外（オーストラリア）との外国語オンライン交流）開始
- 令和 2.
1. 市立岩戸小学校内に市立小・中学校共同学校事務室を設置
 4. 地域学校協働活動推進員を委嘱（安徳小、片縄小、南畠小）
 8. 市立小・中学校 1 学年分及び教職員のタブレット端末を整備
 3. 市立小・中学校にタブレット端末を追加整備し、児童生徒 1 人 1 台端末環境を実現
 4. 南畠小学校給食調理業務を民間委託
 4. 市立小・中学校児童生徒 1 人 1 台端末の運用開始
 4. 外国語指導助手（ALT）4 名体制へ
 5. 安徳北小学校、那珂川中学校が福岡県重点課題研究指定・委嘱事業「確かな学力を育む一人一台端末の効果的活用」（令和 3～5 年度）を受ける
 6. 市民体育館空調設備運用開始
 6. 市民体育館トイレ、シャワー室改修工事
 12. Wi-Fi モバイルルーターを整備
 4. 2. ミリカローデン那珂川リニューアル第 1 期工事（文化ホール、エントランスホール）
 3. 図書館システム等導入業務（IC タグ対応システム、電子図書館システム等）
 3. 南畠幼稚園及び岩戸北幼稚園廃園
 4. 岩戸幼稚園で 3 歳児保育開始
 7. オンライン配信セットを整備
 5. 2. 学校の校務データをクラウド化
 3. ミリカローデン那珂川リニューアル第 2 期工事（外壁・屋根）

4. 那珂川市教育サポートセンターを設置
11. 福岡県重点課題研究指定・委嘱事業「確かな学力を育む一人一台端末の効果的活用」
(令和3~5年度) 研究発表会
6. 3. ミリカローデン那珂川リニューアル第3期工事 (図書館)
3. 那珂川市文化芸術推進計画策定
8. 那珂川市教育サポートセンター移転
12. 岩戸北小学校、安徳北小学校50周年記念式
7. 3. ミリカローデン那珂川リニューアル第4期工事(生涯学習センター)
3. 市立小・中学校に統合型校務支援システムを導入

3 学校給食

(1) 学校給食の概要

(令和7年5月1日現在)

	学校名	調理方式	調理場システム	建築年度又は最終改修年度	栄養教諭	学校栄養職員	調理員数	月額給食費	給食回数(予定)
小学校	安徳小学校	自校	ドライ	平成24年度	—	1名	(委託)6	6,050円	188回
	南畠小学校		ドライ	令和2年度	—	1名	(委託)3		
	岩戸小学校		ドライ	平成29年度	—	1名	(直営)7		
	岩戸北小学校		ドライ	平成17年度	1名	—	(委託)12		
	安徳北小学校		ドライ	平成21年度	1名	—	(委託)12		
	片繩小学校		ドライ	令和5年度	1名	—	(委託)9		
	安徳南小学校		ドライ	平成29年度	1名	—	(委託)12		
中学校	那珂川中学校	民間センター	ドライ	—	—	1名	(委託)13	7,000円	190回
	那珂川南中学校				—	1名			
	那珂川北中学校				—	1名			

(2) 食育

(令和7年度)

取組	内容
給食献立	学校給食を「生きた教材」として活用するため、郷土料理、選択給食など献立にねらいを設定している。
弁当の日	児童生徒が自分でお弁当を作ることで調理の楽しさや難しさを体験し、食に関する関心を高める。また、「おにぎり給食」や「弁当箱の日」などを活用し、児童生徒の発達段階に合わせて取り組む。
地産地消	学校給食に那珂川市産の食材を取り入れることで、地域の自然、食文化について理解を深め、食べ物への感謝の気持ちを持たせる。
作品募集	①作品募集「なかがわ 元気っ子料理検定」(小学校) 調理技術の基礎と実践力を身につけることを目的に、児童が目標とする調理に挑戦し、級に応じて認定表等を送付する。 ②学校給食レシピ募集事業「那珂川給食チャレンジ」(中学校) 調理技術の獲得や地場産物への理解を深めることを目的に、生徒が給食レシピを考案する。また、優秀作品を給食のメニューとして採用する。

4 学校施設

(1) 幼稚園・小学校・中学校施設一覧

(令和7年5月1日現在)

番号	学校名	校地面積		建物面積									保有教室数		プール		
		校地	左のうち運動場	校(園)舎				屋内運動場			部室			普通	特別	m	コース
				鉄筋	鉄骨他	木造	計	鉄筋	鉄骨他	計	鉄筋	鉄骨	計				
1	岩戸幼稚園	2,777 借用 1,440	1,304 借用 179		492		492								3	2	
2	安徳小学校	11,422	5,700	4,602	94	18	4,714	873		873					17	11	25 6
3	南畠小学校	15,455 借用 3,414	8,041	2,656			2,656	874		874					8	6	25 6
4	岩戸小学校	14,708	5,867	4,616	104		4,720	874		874					11	12	25 6
5	岩戸小学校 後野分校			借用 45			借用 45								借用 1		
6	岩戸北小学校	20,835	10,044	5,732	127		5,859	1,019		1,019					31	11	25 6
7	安徳北小学校	20,098	8,391	4,610	901	50	5,561	890		890					33	5	25 6
8	片縄小学校	24,888	11,151	4,656	546		5,202	874		874					25	7	25 6
9	安徳南小学校	24,058	9,455	5,757	209		5,966	919		919					24	9	25 7
10	那珂川中学校	21,173	9,568	6,376	250		6,626	1,771		1,771	128	61	189	19	19	25	6
11	那珂川中学校 後野分校	借用 3,101		借用 1,258			借用 1,258	借用 551		借用 551					借用 5	借用 11	
12	那珂川南中学校	34,636	16,270	5,044	1,130		6,174	1,685		1,685	147		147	24	17	25	7
13	那珂川北中学校	30,937	10,898	6,641			6,641	3,403		3,403	75		75	21	14	25	7

※単位 平方メートル

(2) 沿革

- 昭和 9. 9. 岩戸尋常高等小学校全校舎大改築
23. 9. 埋金に南畠中学校校舎新築
12. 仲に天徳中学校校舎新築
28. 6. 松木に安徳小学校校舎改築
37. 10. 南畠中学校運動場新設
38. 3. 天徳中学校体育館新築
8. 岩戸幼稚園園舎新築
11. 安徳幼稚園園舎、南畠幼稚園園舎新築
42. 3. 岩戸小学校校舎改築
3. 那珂川中学校校舎新築
45. 5. 南畠小学校校舎改築
7. 那珂川中学校プール新築
46. 6. 安徳小学校プール新築
47. 7. 岩戸小学校プール新築
49. 3. 恵子に岩戸北幼稚園園舎新築
50. 3. 那珂川中学校校舎増築
4. 那珂川中学校運動場に夜間照明施設設置
51. 3. 岩戸北小学校屋内運動場新築
5. 安徳北小学校屋内運動場新築
52. 7. 岩戸北・安徳北小学校にプール新築
11. 福岡女子商業高等学校食堂落成
53. 3. 岩戸北幼稚園園舎増築
54. 5. 安徳小学校校舎増改築
5. 岩戸北小学校校舎増築
55. 5. 那珂川南中学校校舎増築
56. 2. 岩戸北・安徳北小学校校舎増築
3. 南畠小学校屋内運動場改築
3. 岩戸小学校校舎増改築
7. 那珂川南中学校プール新築
57. 3. 福岡女子商業高等学校校舎増改築
58. 10. 片縄小学校校舎落成
59. 2. 那珂川南中学校改築
6. 片縄小学校プール新築
60. 2. 那珂川中学校改築
2. 福岡女子商業高校プール新築
8. 那珂川中学校本館、体育館大規模改造工事
61. 2. 那珂川南中学校校舎増築
平成元. 7. 那珂川中学校プール改築
11. 福岡女子商業高等学校昇降口増築
2. 9. 那珂川南中学校鉄骨校舎増築
3. 8. 福岡女子商業高等学校大規模改築
4. 9. 福岡女子商業高等学校大規模改築
9. 南畠小学校大規模改築

5. 9. 岩戸小学校大規模改造
7. 8. 岩戸北幼稚園大規模改造
10. 福岡女子商業高等学校プール大規模改造
9. 8. 岩戸北小学校体育館大規模改造
10. 5. 安徳小学校プール改築
8. 岩戸北幼稚園大規模改造
9. 安徳北小学校体育館大規模改造
11. 3. 那珂川中学校体育館危険改築工事
8. 片縄小学校校舎増築
9. 南畠小学校校舎増築
13. 9. 岩戸北小学校校舎第2期大規模改造
14. 3. 南畠小学校プール新築
16. 9. 安徳北小学校校舎増築
17. 10. 岩戸北小学校校舎第3期大規模改造
21. 9. 岩戸小学校校舎・体育館・運動場の豪雨による災害復旧工事
10. 那珂川中学校耐震補強工事
22. 3. 安徳北小学校大規模改造増築（給食室・図工室・普通教室）
3. 福岡女子商業高等学校耐震工事（教室棟・食堂・体育館）
8. 安徳北小学校第1期大規模改造
10. 那珂川南中学校耐震補強工事
23. 9. 安徳北小学校第2期大規模改造
24. 12. 町立小・中学校（安徳小を除く）に空調・太陽光発電設備整備工事
25. 3. 安徳小学校第1期大規模改造（給食室・生活科ルーム）
3. 安徳南小校舎増築（教室棟）
10. 安徳小学校第2期大規模改造
26. 11. 安徳小学校第3期大規模改造
27. 3. 那珂川中学校特別教室・プール棟改築
11. 岩戸小学校第1期大規模改造
29. 8. 岩戸小学校第2期大規模改造（給食室・職員室・特別教室）
11. 岩戸小学校第3期大規模改造
30. 3. 安徳南小学校給食室増改築工事
10. 那珂川南中学校仮設校舎増築
11. 那珂川中学校第1期長寿命化改良工事
令和元. 10. 那珂川中学校第2期長寿命化改良工事
2. 10. 安徳南小学校エレベーター設置工事
11. 那珂川中学校第3期長寿命化改良工事
3. 2. 片縄小学校エレベーター・多目的トイレ設置工事
3. 南畠小学校給食室増改築工事
4. 岩戸北幼稚園園舎、南畠幼稚園園舎解体
4. 1. 片縄小学校校舎等改修工事
3. 那珂川南中学校トイレ改修工事
3. 那珂川南中学校トイレ増築、校舎等改修工事
5. 2. 片縄小学校校舎増築工事
7. 那珂川南中学校エレベーター等設置工事
11. 南畠小学校トイレ改修工事
6. 3. 片縄小学校給食室増改築工事

5. 市立小・中学校・幼稚園一覧

(令和7年5月1日現在)

	学校名 (園)	所在地	電話番号	校・園長名	開校年度 (開園)	児童 生徒数 園児	学級数	教職員数	
								教員	職員
幼稚園	岩戸	西隈1丁目 9番17号	952-2006	鳥飼 尚枝	昭和 38年6月	26	3	8	0
	計					26	3	8	0
小学校	安徳	松木2丁目 134番地	952-2122	陶山 嘉一	明治 7年5月	(35) 342	(5) 17	26	4
	南畠	大字埋金 530番地1	952-2007	園田 洋一	明治 7年1月	(7) 110	(2) 8	14	3
	岩戸	西隈2丁目 6番43号	952-2108	安陪 秀樹	明治 37年4月	(24) 197	(4) 11	18	6
	同 後野分校	大字後野 279番地2	952-2721	八尋 健次 (分校長)	昭和 41年4月			1	0
	岩戸北	恵子1丁目 1番地1	952-4883	松元 浩一郎	昭和 50年4月	(65) 683	(10) 31	45	3
	安徳北	五郎丸1丁目 11番地	952-4899	白水 隆暢	昭和 50年4月	(59) 703	(11) 33	49	4
	片縄	片縄北1丁目 15番1号	952-7056	村山 直樹	昭和 58年4月	(49) 551	(8) 25	32	2
	安徳南	上梶原1丁目 1番1号	953-6311	落合 弘子	平成 8年4月	(49) 505	(8) 24	34	2
	計					(288) 3,091	(48) 149	219	24
中学校	那珂川	仲3丁目 19番1号	952-2111	稻永 誠也	昭和 22年4月	(40) 488	(7) 19	34	5
	同 後野分校	大字後野 279番地2	952-2721	八尋 健次 (分校長)	昭和 41年4月	(0) 14	(0) 5	10	1
	那珂川南	上梶原1丁目 2番1号	952-7915	中本 克典	昭和 55年4月	(51) 629	(8) 24	44	6
	那珂川北	片縄西3丁目 26番1号	953-7887	佐藤 茂史	平成 16年4月	(43) 508	(8) 21	39	6
	計					(134) 1,639	(23) 69	127	18

※()は特別支援学級を内数表示

※非常勤講師を除く

6. 園児・児童・生徒数及び学級数の推移

幼稚園

単位：人、学級（各年度5月1日現在）

		令和2	3	4	5	6	7
岩戸幼稚園	園児数	27	27	32	30	27	26
	学級数	2	2	3	3	3	3
南畠幼稚園	園児数	6	休園	廃園	廃園	廃園	廃園
	学級数	2					
岩戸北幼稚園	園児数	119	89	廃園	廃園	廃園	廃園
	学級数	6	4				
計	園児数	152	116	32	30	27	26
	学級数	10	6	3	3	3	3

小学校

単位：人、学級（各年度5月1日現在）

		令和2	3	4	5	6	7
安徳小学校	児童数	(21) 400	(19) 367	(26) 356	(24) 343	(33) 341	(35) 342
	学級数	(4) 17	(4) 17	(4) 16	(4) 16	(6) 18	(5) 17
南畠小学校	児童数	(3) 78	(5) 90	(5) 93	(4) 101	(6) 96	(7) 110
	学級数	(2) 8	(2) 8	(2) 8	(2) 8	(2) 8	(2) 8
岩戸小学校	児童数	(26) 226	(21) 215	(23) 207	(24) 192	(23) 181	(24) 197
	学級数	(4) 12	(4) 12	(4) 12	(4) 11	(4) 11	(4) 11
岩戸小学校 後野分校	児童数	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 1	(0) 0
	学級数	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 1	(0) 0
岩戸北小学校	児童数	(36) 752	(45) 720	(54) 714	(58) 684	(63) 700	(65) 683
	学級数	(6) 29	(7) 28	(9) 30	(10) 31	(10) 32	(10) 31
安徳北小学校	児童数	(46) 764	(45) 765	(48) 783	(47) 758	(55) 730	(59) 703
	学級数	(7) 30	(7) 29	(8) 33	(8) 32	(8) 31	(11) 33
片縄小学校	児童数	(33) 560	(39) 558	(45) 565	(41) 548	(46) 534	(49) 551
	学級数	(6) 24	(7) 25	(8) 26	(7) 24	(7) 24	(8) 25
安徳南小学校	児童数	(23) 673	(22) 647	(30) 609	(38) 568	(44) 552	(49) 505
	学級数	(4) 24	(4) 23	(5) 23	(6) 24	(7) 25	(8) 24
計	児童数	(188) 3,454	(196) 3,362	(231) 3,327	(236) 3,195	(270) 3,135	(288) 3,091
	学級数	(33) 145	(35) 142	(40) 148	(41) 147	(44) 150	(48) 149

※ () は特別支援学級を内数表示

中学校

単位：人、学級（各年度5月1日現在）

		令和2	3	4	5	6	7
那珂川中学校	生徒数	(25) 468	(46) 494	(49) 485	(47) 484	(35) 476	(40) 488
	学級数	(4) 16	(8) 20	(8) 20	(8) 20	(6) 18	(7) 19
那珂川中学校 後野分校	生徒数	(0) 7	(0) 12	(0) 14	(0) 11	(0) 10	(0) 14
	学級数	(0) 5	(0) 5	(0) 5	(0) 5	(0) 5	(0) 5
那珂川南中学校	生徒数	(29) 667	(33) 673	(37) 673	(44) 677	(44) 650	(51) 629
	学級数	(5) 23	(6) 24	(7) 25	(8) 26	(7) 24	(8) 24
那珂川北中学校	生徒数	(25) 483	(22) 511	(28) 525	(36) 533	(38) 512	(43) 508
	学級数	(4) 17	(4) 17	(5) 19	(8) 23	(7) 21	(8) 21
計	生徒数	(79) 1,625	(101) 1,690	(114) 1,697	(127) 1,705	(117) 1,648	(134) 1,639
	学級数	(13) 61	(18) 66	(20) 69	(24) 74	(20) 68	(23) 69

※ () は特別支援学級を内数表示

7. 文化財

(1) 国指定文化財

種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
史跡	安徳大塚古墳	仲・安徳・下梶原	平成 28 年 3 月 7 日
史跡	安徳台遺跡	安徳	平成 31 年 2 月 26 日

(2) 県指定文化財

種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
無形民俗文化財	岩戸神楽	山 田	昭和 29 年 12 月 13 日
天然記念物	釣垂のヒノキシダ	市 ノ瀬	昭和 37 年 4 月 19 日
天然記念物	安徳のエノキ	下 梶 原	昭和 37 年 7 月 26 日
天然記念物	成竹のモチノキ	成 竹	昭和 38 年 12 月 24 日
天然記念物	市ノ瀬のヤマモモ	市 ノ瀬	昭和 38 年 12 月 24 日
天然記念物	日吉神社のオガタマノキ	市 ノ瀬	昭和 38 年 12 月 24 日
天然記念物	山中のアセビ	不 入 道	昭和 41 年 10 月 1 日

(3) 市指定文化財

番 号	種 別	名 称	指定年月日
第 1 号	有 形 文 化 財	三角縁神獣鏡・妙法寺 2 号墳出土遺物一括	平成 9 年 3 月 18 日
第 2 号	有 形 文 化 財	現人神社の「正徳四年」銘鳥居及び「現人大明神」額	平成 10 年 7 月 1 日
第 3 号	史 跡	丸ノ口古墳群 (V群 5 号墳及びVI群 2 号墳)	平成 11 年 6 月 22 日
第 4 号	有形民俗文化財	岩戸神楽古道具一括	平成 11 年 12 月 20 日
第 5 号	天 然 記 念 物	山田のイチョウ	平成 14 年 4 月 22 日
第 6 号	有形民俗文化財	見返り燈籠 (燈とぼし)	平成 17 年 6 月 24 日
第 7 号	有 形 文 化 財	エゲ古墳主体部出土遺物一括	平成 18 年 4 月 24 日
第 8 号	有 形 文 化 財	安徳台遺跡群 2 号棺・5 号棺及び出土遺物一括	平成 25 年 7 月 18 日
第 9 号	有 形 文 化 財	黒田諸左衛門利郷拜銘石製燭臺残欠	令和 4 年 7 月 27 日
第 10 号	有 形 文 化 財	安徳台遺跡住居跡出土遺物一括	令和 6 年 5 月 29 日

(4) 認定・選定文化財

名 称	内 容	認定及び選定年月日
裂田溝	日本遺産（候補地域） 『古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～』の構成文化財として	令和 2年 6月 19日 令和 7年 2月 4日
	疏水百選	平成 18年 2月 3日
肥前・筑前街道 - 脊振坂越	歴史の道百選	平成 8年 11月 1日

(5) 発掘調査状況（令和6年度）

遺 跡 名	地 番	発掘面積	遺跡の内容	調査原因
岸ノ上遺跡群	恵子 3 丁目 263-1 他	約 71,000 m ²	竪穴住居跡、溝、土坑、ピット多数	土地区画整理
龍頭遺跡群 ・龍頭古墳群	那珂川市大字安徳字龍頭 79-1、82-1	1,400 m ²	古墳 1 基、竪穴状遺構、土坑、ピット多数	駐車場造成
觀音堂遺跡群	片縄北 3 丁目 448 番 1 他	2,300 m ²	古墳、甕棺墓、土坑、ピット多数	宅地造成

(6) 沿革

- 昭和 29. 12. 「岩戸神楽」を県無形民俗文化財に指定
 37. 04. 「釣垂のヒノキシダ」を県天然記念物に指定
 07. 「梶原のギンモクセイ」「安徳のエノキ」を県天然記念物に指定
 38. 12. 「成竹のモチノキ」「市ノ瀬のヤマモモ」「日吉神社のオガタマ」を県天然記念物に指定
 41. 10. 「山中のアセビ」を県天然記念物に指定
 55. 10. 妙法寺古墳群から三角縁六神四獸鏡が出土
 56. 06. 井河古墳群から青銅製鈴釧（すずくしろ）出土
 07. 妙法寺古墳群から古墳時代の割竹形木棺が完形で出土
 57. 02. 宗石遺跡群で前方後円墳の貝徳寺古墳発見
 59. 07. 県文化財指定 30 周年の「岩戸神楽」を伏見神社で奉納
- 平成 15. 05. 安徳台遺跡群で奴国の有力首長墓発見
 16. 05. 丸ノ口古墳公園開園
 28. 03. 安徳大塚古墳を国史跡に指定
 03. 「梶原のギンモクセイ」を県指定文化財から解除
 30. 03. 「国史跡 安徳大塚古墳保存活用計画」策定
 31. 02. 安徳台遺跡を国史跡に指定
- 令和 02. 06. 裂田溝を日本遺産『古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～』の構成文化財に認定
 04. 03. 「国史跡 安徳台遺跡保存活用計画」策定